

2021 年度 社会福祉法人愛隣園事業報告書

1. 法人の基本理念

「自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ」

聖書 ルカによる福音書第 10 章 27 節

2. 総括

2020 年 1 月 16 日に国内で初めて新型コロナウイルス感染症が確認されてから 2 年が経過し、第 1 波、第 2 波と感染拡大が続き今年度に入ると第 4 波が襲来、7 月に入るとデルタ株の出現で感染が急拡大し第 5 波が襲来、そして 2022 年の年明け早々、オミクロン株の出現によってこれまでにないレベルでの急激な感染拡大が始まった。この第 6 波では、2 月 3 日に全国で初めて 1 日の感染者数が 10 万人を突破し、愛媛県でも 1 月 22 日には 309 人と初めて 300 人を超えるなど、この 1 年間もコロナ対策に振り回された年であった。

当法人においても、一部職員が感染するなど、あわや施設内感染かという事態もあったが、日頃からの徹底した感染対策の取組みといざという時の迅速な対応で何とか事なきを得たことは幸いであった。これもひとえに職員また利用者の皆さん、そしてご家族の方々の全面的なご協力の賜物と改めて感謝の意を表したい。

このようなコロナ禍の影響で、本年度も昨年度に引き続き、各種のイベントや行事については中止、延期若しくは縮小を余儀なくされたが、こういった中であって最も大きな取組みとしてあげられるのは、「2026 経営の安定化に向けて 変革と創造」を基本方針に掲げた中期経営計画を策定したことである。次年度からはこの計画で掲げる目標の着実な具体化に取り組んでいきたいと考えている。

また、新たな取組みとして公益的な取組みの拠点となる「地域共生センターあいりん」を 6 月に設置したところであるが、これもコロナの影響で本格的な取組みは次年度への持ち越しとなった。

その他には「個人情報保護規程」や「職員安全衛生管理規程」などの諸規程の抜本的な見直しを行うとともに、処遇改善加算制度についてもこれまで特別賞与として支給していたものを月額手当に見直すなど人事労務管理体制の強化にも取り組んだところである。

なお、愛隣こども園、ガリラヤ荘、ガリラヤ久米の 3 事業所の状況については、本年度の決算状況を見ると、愛隣こども園については、利用定員を超えて子どもを受け入れた場合、一定の条件下で給付費の減算措置が適用されることから受け入れ人数を抑えた結果、収入は対前年度 780 万円の減となり、当期資金収支差額は設備整備等積立資産支出分を加えて 150 万円という厳しい状況であった。

ガリラヤ荘については、収入は対前年度 1,900 万円の増額となっており、特に、コロナ禍で落ち込んでいたデイサービスやショートステイなどの在宅部門の持ち直しが大きく寄与。ガリラヤ久米についても、収入は、平成 29 年の開設以来、毎年順調に伸びてきており、今年度においては対前年度 1,750 万円の増額となっている。支出関係では、特にガリラヤ久米の人件費率が 71.7%となっており、このあたりのコストをどう下げていくかが今後の課題と考えている。

本年度も昨年度に引き続き何かを行って成果を上げたということではなく、各種のイベントや行事は中止、縮小といったことでただただ我慢の 1 年であったかと思うが、こういった中で、新型コロナウイルス感染拡大前にはほとんど想像できなかったことが現実になっていることは驚くべきこ

とである。例えば、SDCs やダイバーシティ（多様性）などの言葉が普通に使われ、ジョブ型雇用の普及や週休 3 日制の導入、リモートワークなど長く進まなかった働き方の多様化が一気に花開こうとしており、利益のみを目的としてきた民間企業が社会に貢献する存在へと変わり始め、さらには介護の従事者などを社会生活を維持するために必要不可欠な職業としてエッセンシャルワーカーと呼ばれ大きな注目が集まる。その他、介護のデジタル活用などは言うに及ばず数え上げると枚挙にいとまがない。

このような状況を見ると社会のシステム、個人の意識・考え方、組織のあり様などが根底から変わりつつあることを実感するところであり、これからは多様に変化する時代の流れというものを的確にキャッチしながらこれらの流れに即応した法人経営を行っていくことが生き残りの鍵になるのではないかと考えている。

3. 事業の概要

【沿革】

- ・ 1930 年（昭和 5 年） 松山市神田町に三津キリスト教会附属「愛隣保育園」開設
- ・ 1967 年（昭和 42 年） 8 月 社会福祉法人「愛隣保育園」の法人認可
- ・ 1972 年（昭和 47 年） 11 月 社会福祉法人「愛隣園」と名称変更
- ・ 1973 年（昭和 48 年） 4 月 現東温市松瀬川に特別養護老人ホーム「ガリラヤ荘」（定員 50 名）開設
- ・ 1977 年（昭和 52 年） 4 月 特別養護老人ホーム「ガリラヤ荘」増設（定員 80 名）
- ・ 2000 年（平成 12 年） 4 月 「ガリラヤ荘」介護老人福祉施設の指定
- ・ 2008 年（平成 20 年） 11 月 「ガリラヤ荘」東温市南方 1766 番地 1 へ新築移転
- ・ 2016 年（平成 28 年） 4 月 「愛隣保育園」松山市三津三丁目 6 番 30 号へ新築移転
- ・ 2017 年（平成 29 年） 4 月 「愛隣保育園」幼保連携型認定こども園移行により「愛隣こども園」に名称変更
- ・ 2017 年（平成 29 年） 4 月 松山市久米窪田町 667 番地 1 に高齢者総合福祉施設「ガリラヤ久米」開設

【事業】

事業所名	施設長	所在地	定員等
愛隣こども園	羽藤美知子	松山市三津三丁目 6 番 30 号	66 名
ガリラヤ荘	高橋 雅志	東温市南方 1766-1	特養 80 名、ショートステイ 20 名 デイサービス 35 名、その他居宅介護 支援事業所、在宅介護支援センター、 訪問介護を運営
ガリラヤ久米	佐々木 忍	松山市久米窪田町 667-1	特養 29 名、ショートステイ 10 名、 グループホーム 18 名、介護付有料 35 名、デイサービス 18 名、その他居宅 介護支援事業所を運営

4. 理事会、評議員会等の開催

(1) 役員・評議員等

【役員：理事 6 名、監事 2 名】

理事長	佐々木信也	理 事	高橋 雅志
理 事	佐々木美穂	監 事	和田 政也
理 事	長谷川 寿	監 事	川中 国和
理 事	西川 潤子		
理 事	羽藤美知子		

【評議員 7 名】

評議員	田坂 信一	評議員	乗松 健二
評議員	二宮 秀生	評議員	杉野 典子
評議員	野村 忠秀	評議員	丹 紀代
評議員	別府 頼房		

【評議員選任委員】

評議員選任委員	形上 哲也	評議員選任委員	砂子 治幸
評議員選任委員	西山 裕一		
評議員選任委員	和田 政也		
評議員選任委員	小原 伸広		

(2) 理事会

開催年月日	出席者数		議 案
	理事	監事	
令和 3 年度 第 1 回理事会 6 月 10 日	6 名	2 名	【決議事項】 第 1 号議案 令和 2 年度事業報告について 第 2 号議案 令和 2 年度計算書類（決算報告）について -報告事項- 令和 2 年度監事監査報告について 第 3 号議案 評議員選任に伴う候補者の推薦の件 第 4 号議案 役員（理事・監事）改選に伴う候補者の推薦について 第 5 号議案 評議員選任委員任期満了に伴う改選について 第 6 号議案 社会福祉法人愛隣園「地域共生センターあいりん」設置要綱の制定について 第 7 号議案 諸規程の改正について 第 8 号議案 定時評議員会の日程及び議案について 【報告事項】 1. 新型コロナウイルス対策の件 2. 現況報告（本部、こども園、ガリラヤ荘、ガリラヤ久米）
令和 3 年度 第 2 回理事会 6 月 24 日	6 名	1 名	【決議事項】 第 1 号議案 理事長選任について

令和3年度 第3回理事会 7月15日	6名	0名	【決議事項】 第1号議案 幼保連携型認定こども園愛隣こども園 運営規程について 第2号議案 社会福祉法人愛隣園個人情報の開示に関する 取扱い規程について
令和3年度 第4回理事会 10月29日	6名	2名	【決議事項】 第1号議案 個人情報保護規程等の改正について 第2号議案 ガリラヤ荘職員互助会会則の改正について 第3号議案 介護職員処遇改善加算に係る給与規程の見し について -報告事項- 1. 理事長の職務執行状況について 2. 現況報告（本部・こども園・ガリラヤ荘・ガリラヤ久米）
令和3年度 第5回理事会 12月3日	6名	2名	【決議事項】 第1号議案 令和3年度第1次補正予算（案）について 第2号議案 地域共生センター整備計画について 第3号議案 年末年始手当支給について 第4号議案 「職員安全衛生規程」等の改正及び制定 について 第5号議案 第2回評議員会の日程及び議案について -報告事項- 1. 現況報告（本部・こども園・ガリラヤ荘・ガリラヤ久米）
令和3年度 第6回理事会 3月16日	6名	1名	【決議事項】 第1号議案 令和3年度第2次補正予算（案）について 第2号議案 令和4年度理事長報酬（案）について 第3号議案 令和4年度事業計画（案）について 第4号議案 令和4年度当初予算（案）について 第5号議案 処遇改善に伴う給与規程及び取扱い規程の 制改定について 第6号議案 新型コロナウイルス対応職員への慰労手当 の支給について 第7号議案 中期経営計画（案）について 第8号議案 組織規程の改定について 第9号議案 運営規程の一部改正について 第10号議案 令和3年度第3回評議員会の日程及び議案 について -報告事項- 1. 理事長の職務執行状況について 2. 新型コロナ対策について 3. 現況報告（本部・愛隣こども園・ガリラヤ荘・ガリラヤ久米）

(3) 評議員会

開催年月日	出席者数		議 案
	評議員	役 員	
令和3年度 定時評議員会 6月24日	7名	理事 6名 監事 2名	【報告事項】 1. 令和2年度事業報告 2. 新型コロナ対策について 【決議事項】 第1号議案 令和2年度計算書類等（決算報告）の承認について -報告事項- 令和2年度監事監査報告について 第2号議案 役員（理事・監事）改選について 【その他報告事項等】 1. 評議員及び評議員選任委員の改選について 2. 現況報告（本部・愛隣こども園・ガリラヤ荘・ガリラヤ久米）
令和3年度 第2回評議員会 12月11日	7名	理事 6名 監事 2名	【決議事項】 第1号議案 令和3年度第1次補正予算（案）について 第2号議案 地域共生センター整備計画について
令和3年度 第3回評議員会 書面決議 3月31日	全員 同意		【決議事項】 第1号議案 令和3年度第2次補予算（案）について 第2号議案 令和4年度理事長報酬（案）について 第3号議案 令和4年度事業計画（案）について 第4号議案 令和3年度当初予算（案）について 第5号議案 中期経営計画（案）について

5. 監事監査

令和3年6月7日（月）に、和田政也及び川中国和の両監事により令和2年度事業報告及び当該年度に係る計算書類関係に基づき業務及び財務の状況について監査が実施された。

6. 評議員選任委員会の開催

令和3年6月24日付で任期が満了することから、6月10日に開催した令和3年度第1回理事会において推薦のあった候補者について6月17日開催の評議員選任委員会（委員総数5名：外部委員2名、監事1名、事務局職員2名）で審議した結果、田坂信一氏、二宮秀生氏、野村忠秀氏、乗松健二氏、別府頼房氏、杉野典子氏の6名は留任となり、新たに1名、丹紀代氏を選任した。

任期は、令和3年6月24日から令和7年度の定時評議員会の終結の時までとなっている。

7. 本部事務局体制

当初は、局長、次長、会計担当1名、人事労務担当2名の計5名体制で、法人運営のほか財務会計、人事労務、企画等の事務を処理。

・法人運営：理事会、評議員会の運営等

- ・財務会計：決算、予算管理、財産管理、経理等
- ・人事労務：新卒採用、人事管理、労務諸規程の制定・変更等、研修、勤怠管理、給与支給等
- ・経営企画：法人全体及び各事業所の経営分析、中期経営計画の策定、その他各種企画立案

8. 中期経営計画の策定

- ・計画期間 2022 年度～2026 年度 5 年間
基本方針：「2026 経営安定化に向けて 変革と創造」
- ・構成
 - I 計画の趣旨
 - II 愛隣園を取り巻く経営環境に対する現状認識
 - III 基本方針と最重点戦略
 - IV 事業所別経営戦略
- ・策定のポイント
 - ①可能な限り簡略化し、目で見えて分かるという点に重点を置いたこと
 - ②経営目標（数値目標）を明確に示したこと
 - ③経営戦略委員会（7 回開催）において議論を重ねながら策定作業を進めたこと
- ・経営目標

	2026 年度
事業活動資金収支差額	161,000 千円
収支差額率	13%
当期資金収支差額	48,000 千円
人件費率	65%

9. 地域共生センターの設置及び住宅型有料老人ホームの整備計画の検討

- ・地域共生センターの設置
 - 設置年月日：令和 3 年 6 月 10 日、センター長として西川潤子理事を配置
 - 役割：社会福祉法人愛隣園における公益的取組の拠点としての役割を担う。
 - 基本コンセプト—
 - 子どもからお年寄りまで、障害のある人もない人も、地域の誰もがふらっと立ち寄って気軽に集えて、みんなで楽しんだり思い思いに過ごしたりできる居場所をつくる
 - 事業：身近な問題についてのよろず相談、認知症カフェや各種講座の開催などを計画
 - ※コロナの影響で実施は次年度に持ち越し
- ・住宅型有料老人ホームの整備計画の検討
 - 自立はされているが日常生活に一抹の不安を感じている概ね 60 歳以上の高齢者を対象とする住宅型有料老人ホームの整備について行政側と協議を重ねながら可能か否かについて検討を行った。次年度も引き続き検討を重ねていきたいと考えている。

10. 主な修繕及び備品等の購入状況

○主な修繕

(単位：円)

区 分	内 容	金 額
愛隣こども園	・ 泥んこコーナー移設費用他	455,170 円
ガリラヤ荘	・ 電気温水器等水回り修理 (1,457,995 円) ・ 非常灯設備取替費 (1,540,000 円) ・ 電話設備機器改修費 (474,100 円) ・ ドレープカーテン修理代 (1,192,840 円) ・ 倉庫改修費用 (781,000 円) ・ 厨房機器他 (1,378,969 円)	6,824,904 円
ガリラヤ久米	・ 厨房コンプレッサー冷却不良修理 (236,500 円) ・ 加湿器、浴槽換気システム修繕 (82,500 円) ・ その他水回り他修繕費 (313,275 円)	632,275 円
合 計		7,912,349 円

○備品等購入状況 (固定資産)

区 分	内 容	金 額
愛隣こども園	・ TKC ソフトレンタル料 (210,375 円) ・ パソコンセキュリティ (237,600 円) ・ ひかりのくに備品 (500,880 円)	948,855 円
ガリラヤ荘	・ スリッパ殺菌ディスペンサー (176,000 円) ・ 配膳用温冷カート (390,720 円)	566,720 円
ガリラヤ久米	・ 介護用ベット (104,940 円)	104,940 円
法人本部	・ 会計用パソコン一式 (130,900 円)	130,900 円
合 計		1,751,415 円

11. 利用者の状況

施 設・事業名		定 員	年間延べ利用者数	1 日平均利用者数
愛隣こども園		66	987	
ガリラヤ荘	特養入所	80	25,723	77.0
	ショートステイ	20	5,422	16.2
	デイサービス	35	7,516	26.4
ガリラヤ久米	特養入所	29	10,227	28.0
	ショートステイ	10	3,172	8.7
	デイサービス	18	3,777	12.1
	グループホーム	18	6,414	17.6
	介護付有料	35	11,333	30.1

12. 職員の状況 (令和4年3月31日現在)

(1) 職員配置

区 分	本 部	愛隣こども園	ガリラヤ荘	ガリラヤ久米	合 計
正規職員	2	17	70	61	150
準職員	2	0	47	23	72
臨時/パート	0	9	0	0	9
派遣					0
合 計	4	26	117	84	231

(2) 職員構成(職種、事業所別)

【本部事務局】

職 種	局 長	次 長	事務員			合 計
正職員			2			2
準職員	1	1				2
合 計	1	1	2			4

【愛隣こども園】

職 種	園 長	保育教諭等	栄養士	調理員	事務員	合 計
正職員	1	13	1	2		17
準職員		7		1	1	9
合 計	1	20	1	3	1	26

【ガリラヤ荘】

職 種	管理部門	特養・SS	デイサービス	訪問介護	居宅・在宅	合 計
施設長	1					1
生活相談員		2	1(兼務1)			3(兼務1)
介護職員		64	10(兼務1)	9		83(兼務1)
看護職員		7(兼務1)	5			12(兼務1)
主任介護支援専門員					1	1
介護支援専門員		1(兼務1)			4	5(兼務1)
管理栄養士		1				1
言語聴覚士		1				1
事務職員	3					3
用務員等	7					7
合 計	11	76	16	9	5	117

【ガリラヤ久米】

職 種	管理部門	特養・SS	デイサービス	グループホーム	居 宅	有 料	合 計
施設長	1						1
生活相談員		2	1(兼務1)			2	5(兼務1)
介護職員		21	5(兼務1)	14		16	56(兼務1)

看護職員		4	2			2	8
主任介護支援専門員					1		1
介護支援専門員		1		2	1	1	5
管理栄養士		1					1
事務職員	2						2
用務員等	4					1	5
合 計	7	29	8	16	2	22	84

(3) 離 職 率 (1 年間の退職者数を年度当初の在籍者数で割ったもの)

区 分	令和 3 年度当初	退職者	令和 3 年度離職率	令和 2 年度離職率
愛隣こども園	26	2	7.6	3.8
ガリラヤ荘	118	7	5.9	5.9
ガリラヤ久米	92	9	9.7	10.2
本 部	5	0	0	0
法人合計	241	18	7.4	7.2

※令和 3 年度の場合、法人全体では 7.4 となっており、前年度と比較すると 0.2 ポイント上昇。

当法人の離職率は、福祉医療機構の 2020 年度社会福祉法人の経営状況分析結果における全国の法人全体の離職率 13.5 に比べるとかなり低い離職率となっている。

13. 実習生及び外国人受け入れ状況

(1) 実習生の受け入れ

○愛隣こども園

・保育実習

聖カタリナ大学・短期大学部 1 名の実習生の受け入れを行った。

・小児看護学実習

人間環境大学から 9 名の実習生の受け入れを行った。

○ガリラヤ荘

・介護実習

河原医療福祉専門学校から 17 名、松山学院高等学校から 11 名、聖カタリナ大学 2 名、東温高等学校 3 名の計 33 名の実習生の受け入れを行った。

・看護実習

愛媛大学医学部看護学科から 19 名の実習生の受け入れを行った。

・体験学習

愛媛医療技術大学から 19 名の体験学習の受け入れを行った。

○ガリラヤ久米

・体験学習

愛媛医療技術大学から体験学習の受け入れを行った。

(2) 外国人の受け入れ

- ・令和 3 年度の外国人の受け入れについては、アルバイトとして受け入れていた留学生のベトナム国籍の女性 1 名は卒業に伴い正規の介護職員として採用。現在、中国籍の男性 1 名、ネパール籍の女性 1 名の計 2 名の留学生をアルバイトとして受け入れている。卒業後は、

ベトナム籍の女性と同様に正規の介護職員として雇入れる予定。

- ・当法人では、令和元年度に河原医療福祉専門学校と提携して、介護を学ぶ留学生を対象に生活費及び学費の援助を目的とした奨学金貸与制度を設けたところであり、卒業後は当法人の介護施設に勤務することとしている。

※奨学金貸与制度の内容

2年間の在学中、毎月37,500円（2年間で900,000円）を貸与、卒業後は、介護福祉士の資格を取得し当法人に5年間勤務した場合、返済は免除

- ・さらに、技能実習生についても、受け入れのための各種手続き等を担う監理団体には令和元年10月に加入しており、今年度、フィリピンの方から4名（ガリラヤ荘2名、ガリラヤ久米2名）を受け入れるための手続を進めることとしたところである。具体的には、次年度に入国、着任の予定であるが、コロナの影響でいつ着任できるかは不透明な状況。

なお、監理団体は、フィリピンからの受け入れを専門としている「日比介護国際協同組合（平成29年11月設立）」である。

14. 職員研修

各事業所では、職員の保育や介護技術のスキルアップを目指して外部研修に積極的に参加するほか内部で以下のような専門研修をきめ細かく実施しているが、福祉を取り巻く厳しい環境の変化に対応していくためには、これらの専門研修に加えて、組織運営のマネジメントスキル向上を目指した階層別研修などに取り組むこととしていたが、コロナの影響で中止を余儀なくされたところである。次年度実施の予定。

○こども園

外部研修に参加。特に、初級職員研修、中堅保育士・保育教諭研修、主任保育士・主幹保育教諭研修など階層別研修を中心にオンラインが主であったが、業務中にも受講出来るというメリットはあった。

○ガリラヤ荘及びガリラヤ久米

施設内研修としては以下のとおり実施。その他各種外部研修にも、適宜参加。

- ・新人職員研修
- ・身体拘束虐待防止研修
- ・リスクマネジメント研修
- ・感染症対策研修
- ・看取り研修
- ・トータルケア勉強会 等

※なお、これらの研修は、コロナの関係で主に書面開催あるいはWEBでの開催となった。

15. 新型コロナウイルス対策

○「新型コロナウイルス緊急対策本部」の設置

令和2年4月17日付で当法人内に「新型コロナウイルス緊急対策本部」を設置し、感染状況に応じた対応方針をその都度協議しながら決定し、職員に周知徹底を図った。

- ① メンバー：理事長、本部事務局長、各施設長及び統括部長
- ② 役割：情報の収集及び共有

新型コロナウイルス対策に関する基本的対応方針の決定

万が一施設内で発生した場合の対応策の検討 など

③ 職員への周知

県外移動の制限や外出の自粛など対策本部で決定した取り組み事項については、逐一、職員に対してはお知らせという形で周知してきたところであり、お知らせは令和 2 年度が計 16 回、令和 3 年度が計 8 回にわたっている。

そのほか、利用者やご家族の皆さんには、外出制限や面会制限などについて協力を依頼した。

○各事業所の対応状況

- ・ こども園：園児の父母等家族が、あるいは職員の配偶者が陽性にといった事例が何件か発生。その都度行政の指示を仰ぎながら園の安全を確認しながら休園若しくはクラス閉鎖などの措置を講ずることなく保育は継続。
- ・ ガリラヤ荘：介護職員が濃厚接触者に、また、ショートステイの利用者の家族が陽性にとった事例が発生。その際は、直ちに、該当箇所をレッドゾーンに指定し、対象者に抗原検査を実施するなど万が一に備えたところであるが、ともに大事に至ることはなかった。
- ・ ガリラヤ久米：介護職員が陽性と確認される事例が発生。連絡を受けると同時に該当箇所をレッドゾーンに指定。併せて対象職員及び利用者に対し抗原検査を実施。感染した職員からの連絡が早期であったため、施設内感染という事態にまでは至らなかった。

○新型コロナ慰労手当の支給

コロナ感染症（疑）の発生に伴い、その対応に追われた職員に対し労苦に報いる意味から、本年度に限り臨時的な手当として「新型コロナ慰労手当」を支給した。

- ・ 対象職員 「レッドゾーン」設定の期間中、勤務した職員（正規、準職員）
- ・ 手当額 1 日 3,000 円

16. 会議等の開催

（1）幹部会（理事長、事務局長、園長、施設長、地域共生センター長、事務局次長）

開催日	議 事 内 容
第 1 回 8 月 4 日	1. 会議開催について 2. 8 月の各施設の行事予定 3. 求人広告について 4. 臨時理事会（第 3 回）の議案追加の説明と承認について 5. 令和 3 年度最賃の改定について 6. 研修について 7. 業務評価について 8. 処遇改善手当の支給について 9. コロナ感染症について
第 2 回 9 月 1 日	1. 9 月の行事予定について 2. 各種行事・会議について 3. BCP について 4. 8 月までの収支状況について 5. 公益的取組について 6. 互助会の見直しについて

	7. コロナ関係について 8. 広報誌の発行について 9. その他（処遇改善手当の見直し、外国人雇用、研修他）
第3回 10月6日	1. 10月の行事予定について 2. 処遇改善手当の見直しについて
第4回 11月4日	1. 11月の行事予定について 2. 令和3年度上半期収支状況について 3. 処遇改善手当の見直しについて 4. 地域共生センター整備計画について 5. 外国人受入について（技能実習生） 6. サロン等の開催計画について 7. 今後の事務処理について 8. その他（各種研修案内、本部事務局体制について）
第5回 12月1日	1. 12月の行事予定について 2. 補正予算の概要について 3. 冬季賞与の支給について 4. 職員互助会について 5. BCPについて 6. その他（コロナ関係、地域共生センター関係他）
第6回 1月5日	1. 1月の行事予定について 2. 収支状況見込について 3. 令和4年度の取組方針について 4. コロナ対策について 5. 令和4年度組織体制について 6. 介護職員処遇改善手当の支給方法の見直しについて
第7回 2月7日	1. 2月の行事予定について 2. 収支状況見込について（1月31日現在） 3. 処遇改善加算への対応について 4. 令和4年度組織体制の方向性について 5. コロナ対策について
第8回 3月8日	1. 3月の行事予定について 2. 人事異動について 3. 処遇改善手当等について 4. コロナ対応に関する手当について 5. ガリラヤ荘修繕計画について 6. 中期経営計画について

（2）経営会議（理事長、理事、事務局長、園長、施設長、部長、事務局次長）

開催日	議 事 内 容
第1回 6月9日	1. 令和2年度事業報告及び決算について 2. 監事監査の結果について 3. 役員改選について 4. 令和3年度の具体的取組方針について 5. 公益的取組の推進について 6. 互助会の見直しについて

	7. 外国人受入について 8. 令和3年度第1回理事会及び定時評議員会等の開催について 9. その他（夏季賞与、危険手当、7月分給与支給日について）
第2回 7月16日	1. 臨時理事会について 2. コロナ対策について 3. 令和3年度各種会議について 4. BCPについて 5. 令和3年度法人研修の実施について 6. 中期経営計画策定の進め方について 7. 資格取得支援制度について 8. 職員安全衛生規程等の見直しについて 9. その他（ガリラヤ荘開設50周年に際しての対応、夜勤手当等）
第3回 10月6日	1. 上半期収支状況について 2. 各種規程の見直しについて 3. コロナ対策について 4. BCPについて 5. その他
第4回 11月24日	1. 決算見込みについて 2. 「地域共生センターあいりん」の整備計画について 3. 職員安全衛生管理規程等の見直しについて 4. 多様な正職員について 5. 年末年始手当について 6. BCP及びリーダー研修について 7. 有給休暇の管理について 8. 本部事務局体制について 9. その他（2020年全国平均賃金ほか）

（3）経営戦略委員会（理事長、事務局長、施設長、部長、事務局次長）

開催日	議 事 内 容
第1回 7月17日	1. キャリアパス制度及び人事評価制度について 2. 事業継続計画（BCP）について 3. 電気料金の見直しについて 4. ICT機器の導入について（介護労働安定センター参加） 5. コロナウイルス対策について 等
第2回 8月7日	1. コロナウイルス対策について 2. ICT機器導入等コロナ関連の補助申請について 3. BCPの策定について 等
第3回 9月18日	1. 上半期の収支状況について 2. キャリアパス制度及び人事評価制度について 3. 処遇改善手当について 4. ホームヘルプサービスにおける自費サービスの創設 5. 新型コロナ対策について 等
第4回 10月21日	1. 上半期決算見込みについて（コロナ支援金含む）について 2. コロナウイルス感染症対策について 3. 訪問介護自費サービスについて 4. 人事評価制度について 等

第 5 回 12 月 25 日	1. BCP の策定について 2. 中期経営計画の策定について 3. 令和 3 年度重点取組事項について 4. 研修制度について 等
第 6 回 1 月 27 日	1. BCP の策定について 2. キャリアパスと人材育成 3. 今後の財務計画について 4. 令和 3 年度に向けての取組方針 ① 人事異動の基本方針 ② デジタル化の推進・介護ロボット等の導入 ③ 法人研修制度について ④ 公益的取組 等
第 7 回 2 月 24 日	1. デジタル化の推進について 2. 公益的取組みについて 3. 令和 3 年度本部事務局事業計画について 4. コロナへの対応について 5. ハラスメント防止規程について 等

(4) 事務局会議（事務局長、次長、事務職員）

開催日	議 事 内 容
第 1 回 7 月 23 日	1. 令和 2 年度の総括及び今後の取組について 2. 本部事務局事務分掌表について 3. 人事・労務の事務処理について 4. 会計について 5. 職場の基本ルールの再確認について 6. その他（意見交換）
第 2 回 9 月 6 日	1. 事務処理ミスの防止について 2. 令和 3 年 8 月末現在の収支見込について 3. その他（意見交換）
第 3 回 11 月 26 日	1. 本部事務局事務分掌表について 2. 接遇（電話対応）について 3. 個人情報保護規程、個人情報の開示等に関する取扱い規程について 4. その他（意見交換）

2021年度(令和3年度)事業報告

愛隣こども園

1. 保育・教育の目的

キリスト教主義の保育・教育理念、方針、目標に基づき、松山市より委託された乳幼児を下記の法において保育・教育をおこなった。

記:児童福祉法第39条を目的とし、児童福祉施設最低基準
第5章第32条より第36条を遵守した。

理念 多くの賜物を与えられて誕生した子どもたちを、ひとりひとり大切にみつめつつ保育及び教育することで他者と共に生きることのできる子どもに育てる。

「自分を愛するように あなたの隣人を愛しなさい」(聖書のことばから)

方針 1「地域の人々と共に」 過疎化が進み高齢者が多くなりました。地域の人々と共に交流し、保護者の家庭を含めて共生する使命があります。

2「基本的習慣を身につけ養う」 他者と心をつなぐ道です。それは他者の人格を尊び、人権を大切にすることを育てることでもあります。

目標 1. 基本的生活習慣を身につけよう。
2. 他の子どもとともに生きる子どもになろう。
3. 自分を豊かに表現できる子どもになろう。
4. 主体的に活動できる子どもになろう。

2. 振り返り

(1) 2021年度もコロナウイルス感染症拡大防止を徹底しながら日々の生活を送ることができた。

松山市が感染拡大した時期、特に2022年1月～3月には、当園も濃厚接触者や感染者が出て、対応に追われたが、休園やクラス閉鎖までには至らず保育・教育を継続することができた。

行事等は、規模の縮小や人数制限を行う中、ある程度の行事は行うことができ保護者の方々も子どもたちの成長の様子を行事の中で垣間見ることができたのではと感じている。(別記3)

できる限り他クラスとの交流をしないで、クラス単位での保育・教育をし、給食は決められた席での黙食という形をとった。職員は、ランチルームで別に食事をとっていたが、いつまでこのような形をとる必要があるのか、子どもたちの健やかな育ちを保障するために、現状の中でコロナとどう向き合い、何に取り組むべきか模索した一年であった。

(2) 2021年度は、定員66名に対して81名でスタートし、最終84名で終える。(別記1)

次年度、定員超過で減算対象にならないように、2021年度は計画的に入所を考えたので例年より途中入園が少なく0歳児のみだった。1年を通して変動が大きくなかったので全体的に安定して保育・教育にあたることができた。

(3) 職員の状況は年度中に産休、育休を2名の職員が取ったが、1名は年度当初からわかっていたためフリーで対応していた。もう1名に関しては、基準より多く配置していたクラスでもあったので、特に支障なく園全体の職員の配置は安定していた。

職員の質の向上では、キャリアアップ研修を中心にオンライン研修で学びの時間が確保でき、また業務内で行うことができた。しかし、学んだことを他の職員と共有したり実際の保育・教育の中に活かしたりできたかという点では十分ではなかった。また、中堅と若い職員で組んだが、若い職員に丁寧に関わり、指導することも成果が見られず、また若い職員が先輩を見て学ぶことも難しかった。月に1,2回ノンコンタクトタイム(子どもと関わらず書類等整理する時間や日)を設けることを職員

たちに働きかけた。前半は確保できた職員も多かったが、後半になると行事等で確保が難しくなり定着させることができなかった。持ち帰らずに業務内でできることを今後も目指したい。
有給の取得は、2021年度も目標に近づけたと思う。しかし、全ての職員が同じように取得するのは難しく、偏りがあった。

- (4) 保育・教育内容は英語、体操を外部講師にお願いすることで幅が広がっていることを実感する。
特に英語は、2021年度からネイティブ(オーストラリア出身)の講師と契約し、進め方等新鮮で年中・年長児は英語の時間をとても楽しみにしている。また、2年度目となった体操教室も子どもたちの能力を上手に引き出してもらい、できなかったことができるようになった喜びや繰り返し挑戦する気持ちを育ててもらっている。体操は2歳児、年少・年中・年長児と4クラスしているが、1年1年の積み重ねは大きい。英語と体操の参観日を行いとても好評であった。

- (5) 保護者との連携は、コロナ禍の時だからこそ積極的にとるように心がけた。送迎時や行事の時に話したり、また個々の様子で気になるようなことがあればこちらから声かけをしたり、参観日等ではアンケートをしたり、できるだけ保護者の声を拾うようにした。0歳児～4歳児クラスは連絡ノートで日々の様子を伝えたり、家庭での様子を記入してもらったりと生活の様子を共有している。
苦情に関しては、2021年度は12月に1件、2月に2件の計3件あった。保護者のほうから連絡ノートや 直接お話があり、3件とも状況の把握をし、早急に対応、お互い理解することができた。苦情は思わぬ時に思わぬところから出てくるので、初動を間違わないようにする必要を感じている。

- (6) 地域子育て支援拠点事業は行政からその都度休止や、制限の設け方等連絡が入りそれになら行っていた。事業を行っている時は、予約制ということで密にならず、利用者の動向も把握することができ安心、安全を保ちながら行うことができた。また、休止のときにできることはないか考え親子で作る手作りキットを郵送し好評であった。課題でもある孤独や不安を抱えている保護者への働きかけは、ネットワークを作ることができずじまいであった。

一時預かり事業は、前年度よりコロナを恐れてキャンセルするという方もあまり見られず、利用してくださる方は、例年並みであった。利用の理由は、リフレッシュのためという方は少なくなり、仕事は決まったが入園できないといった事由が多い。また、少し発達がゆっくりな子や経験や刺激が少ないお子さんや食物アレルギー児の利用も増加している。

延長保育事業では、利用者が少ない時もあったが、前年度のようなことはなく、例年通りの補助金をいただくことができ、延長保育にかかる人件費、玩具や消毒のBOXに充てることができた。

3. 児 童 数 (別記1)

定 員 66名 (内1号認定 6名) 現 数 84名
(0歳児 7名、1～2歳児 24名、3歳児 18名、4歳以上児 35名)

4. 職 員 数 (別記2)

園長 1名、保育教諭等 20名(内1名事務兼務)、栄養士1名、調理員 3名、事務 1名

5. 保 育 ・ 教 育 活 動 (別記3)

6. 特別事業の実施状況 (別記4)

- ① 一時預かり事業
- ② 延長保育事業
- ③ 地域子育て支援拠点事業
- ④ 障害児保育事業

7. その他

(別記5)

- ① 食育・アレルギー食について
- ② 感染症・ケガ等について
- ③ 苦情及び苦情解決について
- ④ 研修参加状況について

(別記1) 児童数

2022年3月31日現在

月	0歳児 3号	1歳児 3号	2歳児 3・2号	3歳児 2号 1号	4歳児 2号 1号	5歳児 2号 1号	合計 3・2号 1号	総合計	備 考
4月	4	12	12	15 3	17 1	15 2	75 6	81	
5月	4	12	12	16 2	17 1	15 2	76 5	81	3歳児1名 1号認定から2号認定へ
6月	4	12	12	16 2	17 1	15 2	76 5	81	
7月	4	12	12	16 2	17 1	15 2	76 5	81	
8月	4	12	12	16 2	17 1	15 2	76 5	81	
9月	4	12	12	16 2	17 1	15 2	76 5	81	
10月	5	12	12	16 2	16 2	15 2	76 6	82	0歳児1名入園 4歳児1名 2号認定から1号認定へ
11月	6	12	12	16 2	16 2	15 2	77 6	83	0歳児1名 入園
12月	7	12	12	16 2	16 2	15 2	78 6	84	0歳児1名 入園
1月	7	12	12	16 2	16 2	15 2	78 6	84	
2月	7	12	12	16 2	16 2	15 2	78 6	84	
3月	7	12	12	16 2	16 2	15 2	78 6	84	
計	63	144	144	191 25	198 18	180 24	920 67	987	

(別記2) 職員数

2022年3月31日現在

4 月 5 3 月	園長	保育教諭等			栄養士	調理員		事務員	合計
	正規	正規	臨時	パート	正規	正規	臨時	臨時	
	1	20			1	2	1	1	
		13	5	2					26

※正規保育教諭 1名 育休(2021年11月～)

※臨時保育教諭 1名 産休(2021年10月末～)、育休(2022年1月末～)

(別記3) 行事的保育・教育活動

月 日	曜日	行 事 的 保 育 ・ 教 育 活 動 他	
4月3日	土	入園式	新型コロナウイルス感染拡大防止のため人数制限、時間短縮、検温・消毒・換気等を徹底して行う。式は三津教会 森分望 牧師の祈りにより始める。理事長、園長挨拶、各組担任による園児の紹介、職員のエプロンシアター、大型絵本の読みかせ等行う。各クラスの集まりは中止する。保護者会の役員選出は年長児のクラスで行い、第一回の役員会は別日に行う。
		歓迎遠足	中止
5月26日	水	芋苗付け	畑寺にある芋畑に以上児が参加予定であったが、コロナを鑑みて職員5人のみ参加（虹のそらこども園・小規模保育事業所ひかり・あゆみ保育園合同）
6月5日	土	保育参観日	9:30～11:00 りす組(2歳児) きりん組(4歳児)
6月12日	土	保育参観日	9:30～11:00 ひよこ組(0・1歳児) うさぎ組(3歳児) くま組(5歳児)
6月16日	水	花の日	午前中雨天のためこども園で花の日礼拝を行う。三津教会森分牧師、教会員6名の方々と園児、職員で賛美歌を歌い、牧師のお話、祈りの時を持つ。午後より、天気回復したので、地域や公共の施設にお花を届ける。
6月22日	火	体操教室参観日	6/22 10名 りす組 9:30～9:50
7月6日			7/6 20名 うさぎ組 9:50～10:20
8月3日			8/3 20名 きりん組 10:20～10:50
8月10日			8/10 13名 くま組 10:50～11:30
7月1日	木	内科検診	医師 井上 哲志氏 15:00～16:30
7月5日 ↓	月	聖カタリナ大学短期大学部 保育所実習 2年生	1名来園
7月16日	金		
7月7日	水	歯科検診	医師 道田 里美氏 10:00～12:00
7月31日	土	年長児興居島海水浴	(くま組16名 引率者:職員…9名 保護会役員…3名)
8月5日	木	英語教室参観日	きりん組 10:00～10:40
8月12日			
8月19日			くま組 10:45～11:30
8月26日			
8月6日	金	松山市指導監査	感染警戒期のため延期
8月23日 ↓	月	高浜中学校2年生4名 職場体験	中止
8月25日	水		
8月31日	火	交通安全教室	中止
9月18日	土	敬老参観日	中止 両家の祖父母にプレゼントを郵送する。
10月7日	木	芋ほり	他園と一緒に畑寺にある芋畑で芋ほりを経験する。(3歳以上児クラス) 未満児も同日、園の裏の畑の芋ほりを体験する。
10月19日	火	アンパンマントロッコ列車遠足	くま組(5歳児)参加…他園と一緒に波方公園へ 他のクラスは中須賀公園へ

月 日	曜日	行 事 的 保 育 ・ 教 育 活 動 他	
10月23日	土	運 動 会	大可賀公園で人数制限・検温・消毒・座席指定等 新型コロナ感染症拡大防止の中、二部制で行う。 一部 … 0.1.2.3歳児 → 9:00～10:00 二部 … 4.5歳児 → 10:20～11:20
10月27日 ↓	水	}	人間環境大学小児看護学実習 3年生 5名来園
10月28日	木		
11月1日 ↓	月	}	聖カタリナ大学短期大学部 保育所実習 1年生 1名来園 本人の準備不足ということで実習中止となる。
11月12日	金		
11月5日	金	歯科検診	医師 道田 里美氏 10:00～12:00
11月13日	土	親子遠足	東温市総合公園(ハロウィンの森) 4月にできなかった歓迎遠足、また例年2月末に行うお別れ遠足を取りやめ 11月にする。次年度からも11月に親子遠足を企画する。
11月17日	水	感 謝 祭	三津教会で森分牧師、教会員の方々と一緒に礼拝を守る。 家から持ち寄った果物・野菜をクラスに分かれてご近所や、公共施設に届ける。
11月18日	木	内科検診	医師 井上 哲志氏 15:00～16:30
11月19日	金	こども園ミニバザー	お迎え時保護者と子どもで買い物ごっこを行う。滞在時間15分くらいであったが、 昨年同様コロナの中でも、企画してもらったことへの感謝のこたばをたくさんいただく。(各クラスの作品、4. 5歳児がクッキングした手作りクッキー、職員の焼きたこ焼き、ポップコーンを販売) ※収益は保護者会費へ
12月1日 ↓	水	}	人間環境大学小児看護学実習 3年生 4名来園
12月2日	木		
12月25日	土	クリスマス祝会	降誕劇とクリスマス礼拝をコロナ感染拡大防止のため 人数制限、 時間短縮、検温・消毒・換気を徹底して行う。 10:00～11:30 家族参加者:102名
1月17日	月	松山市指導監査	感染警戒期のため中止 書面での監査となる。
1月19日 ↓	水	}	人間環境大学小児看護学実習 3年生 5名来園 中止
1月20日	木		
1月25日	火	交通安全教室	中止
2月9日 ↓	水	}	人間環境大学小児看護学実習 3年生 5名来園 中止
2月10日	木		
3月26日	土	遊戯会、卒園式	9:15～12:45 家族参加者:103名 新型コロナ感染症拡大防止のため人数制限、消毒、換気を徹底して行う。 遊戯会後在園児は保護者と降園する。卒園式は、卒園児、その保護者、職員で行う。

※ 誕生会 … 毎月1回 (2021年度は、担当者が各クラスを回り、多人数で集まらないようにする)

※ お弁当給食 … 毎月1回 (家庭で用意していただいた弁当箱に給食を詰めて園内、園外で食べる)

※ 避難訓練 … 毎月1回(総合訓練2回) ※ 身体測定 … 毎月1回

(別記4) 特別事業の実施状況

- ① 一時預かり事業 … 一時的に家庭での保育が困難となった場合や、育児疲れの負担を軽減するため一時的に預かることで、安心して子育てができる環境を整備し、児童福祉の向上を図ることを目的として行う。

一時預かり保育事業延人数（月～金曜日 8:30～17:00）

月	実人数	延人数
4	29	155
5	29	163
6	31	217
7	31	208
8	32	166
9	31	187
10	30	210
11	35	202
12	37	204
1	36	162
2	34	166
3	45	238
2021年度合計	400	2,278
参考2020年度合計	323	2,144

- ② 延長保育事業 … 就労形態の多様化に伴う延長保育の需要に対応するため行う。

延長保育事業延人数（月～金曜日 18:00～19:00 の利用者）

月	未満児	3歳児	4歳以上児	合計
4	20	9	55	84
5	8	6	46	60
6	12	8	59	79
7	18	9	47	74
8	13	5	27	45
9	22	7	58	87
10	23	9	56	88
11	52	3	50	105
12	43	1	41	85
1	38	2	31	71
2	57	11	51	119
3	65	9	56	130
計	371	79	577	1,027
参考 2020年度計	281	304	414	999

- ③地域子育て支援拠点事業 …… 主に0歳児から3歳児の未就園児とその保護者また、妊娠中の母親に対して、子育て親子の交流等の提供と促進、子育てに関する相談援助等を基本として活動を行う。

1 活動日時 月曜日～金曜日 10:00～15:00

2 活動内容

2021年度も、コロナウイルス感染拡大防止のため松山市からの要請に応じて活動を実施する。

- ・地域交流室(センタールーム)開放:地域交流室に様々な玩具や、絵本をそろえ親子でゆったりと自由に遊べるよう開放している。

※利用時間(1組あたり1時間程度)・利用組数(室内に3組まで)の予約制で行う。

- ・あかちゃん 広 場:三津浜公民館・高浜公民館にて、月に1回、0歳児を対象に活動の場を提供する。

- ・親子ふれあい広場:三津浜公民館・高浜公民館にて、月に1回、1～3歳児を対象に活動の場を提供する。

※公民館の広さに応じて5組～10組の人数制限を行い、全て予約制で行う。

- ・園庭開放:天気の良い日に、園の広場や屋上を開放しているが在園児との接触は控える。

- ・育児講座:月に1回程度、製作等を中心に育児や生活が楽しくなるような内容や保護者の関心のあることを取り入れる。

※参加組数を減らし、午前(3組)・午後(3組)と分け、予約制で活動を行う。

(戸外の場合は活動内容に応じて組数を変更する。)

※外部講師に依頼する活動(読み聞かせ会や、歯磨き講習等)は控える。

- ・給食試食会:園の給食を試食してもらう。

※コロナウイルス感染拡大防止のため実施していない。

- ・育児相談:電話、来園等で育児の悩みや不安、困っている事などの相談を受けている。

- ・絵本の貸出:地域交流室に置いている、絵本や育児・離乳食等の本の貸出を行う。

3 支援センターの利用者人数(2021年度)

〈 育児講座 〉

月日	活動内容	参加者		
		参加組	子ども	保護者
6月23日(水)	ティッシュカバー製作	3	4	3
7月28日(水)	水遊びのおもちゃ製作	3	3	3
10月19日(火)	運動会ごっこ	4	4	4
11月24日(水)	クリスマス製作	9	9	9
12月 8日(水)	小物入れ製作	5	5	5
計		24	25	24

育児講座一時停止期間はキットを郵送

(9月)フォトフレーム・(1月)カレンダー

(2月)でんでん太鼓・(3月)洗濯ばさみを使った玩具

〈 センタールーム・園庭開放・絵本貸出 〉

月	利用者			絵本貸出
	参加組	子ども	保護者	
4	5	5	5	6冊
5	一時停止			
6	18	18	18	1冊
7	32	33	33	0冊
8	17	17	17	0冊
9	一時停止			
10	42	46	42	0冊
11	70	79	71	0冊
12	51	60	51	1冊
1	5	5	5	0冊
2	一時停止			
3	一時停止			
計	240	263	242	8冊

〈 赤ちゃん広場 〉

月	三津浜公民館			高浜公民館		
	参加組	子ども	大人	参加組	子ども	大人
7	5	5	5	3	3	3
8	5	5	5	4	4	4
10	4	4	4	3	4	3
11	6	6	6	5	5	5
12	5	5	5	5	5	5
1	3	3	3	4	4	4
合計	28	28	28	24	25	24

※4・5・6・9・2・3月は一時停止

〈 親子ふれあい広場 〉

月	三津浜公民館			高浜公民館		
	参加組	子ども	大人	参加組	子ども	大人
7	4	5	4	2	3	2
8	2	2	2	一時停止		
10	4	4	4	4	4	4
11	6	7	6	4	5	4
12	8	9	8	3	4	3
合計	24	27	24	13	16	13

※4・5・6・9・1・2・3月は一時停止、
高浜公民館は8月も一時停止

〈 園行事 〉

月日	行事	活動内容
10月23日(土)	音の広場(運動会)	コロナウイルス感染症予防のため、例年のように声かけを行っていない
11月19日(金)	親子バザー	コロナウイルス感染症予防のため、在園児のみで行う

4 相談件数

月	相談件数				相談内容
	発達・発育	育児不安	情報提供	その他	
6	0	0	9	0	・一時預かりについて(3件) ・当園の見学希望(5件) ・園について(1件)
7	1	0	4	0	・発達がゆっくりである。また同年齢の子と関わりたい。 ・一時預かりについて ・親子ふれあい広場について ・当園の見学について ・給食試食会について
10	0	0	2	0	・一時預かりについて(2件)
11	1	0	1	0	・言葉が遅いようなので心配 ・一時預かりについて
合計	2	0	16	0	計18件

※4・5・8・9・12・1・2・3月は相談なし

※2021年度もコロナウイルス感染症拡大防止対策として、松山市と連携をとりながら子育て支援拠点事業の活動を行った。高浜・三津浜公民館での赤ちゃん広場や親子広場は、公民館が休館していたため実施回数も半分くらいに留まった。園での育児講座も同様に集まって何かをすることは制限が大きく開催回数が少なかったが、親子で製作してもらおうと製作キットを郵送したことは良かったし好評であった。また、登録者には電話で様子を伺い状況把握をしたが、事業が休止すると支援の継続には限界があるのを感じる。

※事業が再開するのを楽しみにしてくださった方もいて、始まるとすぐに利用される方もいた。ただ、保護者同士の交流が制限のある中で限られ、十分ではなかった。

※例年通り補助金をいただくことができたので、感染症対策のために玩具の除菌BOX、部屋や家具等持ち運び消毒できるミスターや玄関に常時設置できる体温計等購入できた。また、第二駐車場にミラーをつけたり、線を引き直したりと整備を行い補助金を有効に使うことができた。

※地域の子育て世帯の把握が2021年度も十分にできていないのが現状である。2022年度は三津、宮前地区担当の保健師さんと連携をとり、子育て世帯へ周知できたらと思っている。

④ 障害児保育事業 … 障害児の保育を推進し、障害児に対する適切な処遇の確保を図る。

対象児：5歳児 1名、4歳児 1名、計2名

(松山市障害児等療育支援事業利用について)

1 実施した支援等の内容

- ・個人が通所している事業所と連携を取りながら、情報を共有し支援にあたる。
- ・日頃から職員間で子どもたちの様子について話をし、気になる子ども、困り感のある子どもに対しての関わり方、働きかけ方など共有する。
- ・保護者から相談等あった場合は、丁寧に園での様子を伝え、保護者の意向を聞きながら今後の関わり方やどういうふうに支援に繋げていくか話をする。

2 利用施設

- ・子ども発達支援サポート にこら
- ・児童発達支援&放課後等デイサービスえるむ(得夢)
- ・放課後デイサービス愛YOUわくわく広場
- ・愛媛県立子ども療育センター
- ・市民病院

3 事業所との連携

- ・7月1日(木) … 子ども発達支援サポート ”にこら” より 職員2名来園
対象児の園での様子を見、その後 ”にこら” での様子や就学へ向けての進め方や保護者との連携について話し合う。
- ・利用日の送迎時 … 放課後等デイサービス ”愛YOUわくわく広場”は園に送迎をするので、その時にできるだけ様子や状況等情報を交換するように務める。

※ 2021年度は ”社会福祉法人 福角会 くるみ園” の施設支援を利用しなかった。例年は ”くるみ園” の職員に訪問してもらい、関わり方や療育・クラス運営・保護者への伝え方など支援の仕方を相談していたが、個々に通所している子もいたり、例年、事業所の都合で打ちきりになったりすることもある。施設支援の利用を見合わせた。その中で ”にこら” ”愛YOUわくわく広場” の職員の方と情報交換をする中、こちらの相談にもものっていただいたりすることができた。外部研修で発達支援の研修等にもオンラインや対面で参加し学ぶ機会を得た。

5歳児相談の活用…保護者が保健所に相談され、園長も5歳児相談に同席する。(9月13日)

登園を嫌がることがあったり、家では母親がいないと泣き叫んだり、母親自身がどう対応していいかわからない場面があることなど話される。園での様子も伝え、保健所の方からアドバイスをしてもらう。

教育相談(松山市教育委員会)について

- ・2021度は、1名が教育相談を受けた。(7月29日)
望ましい教育の場としては、通級による指導の結果となる。

小学校との連携

- ・2021年度は就学前の小学生との交流は行われず、子どもたちも小学校には就学前検診で行くくらいであった。また、小学生との交流や町探検もなくコロナの影響を感じる。子どもはもちろん保護者も新しい生活に不安を覚える方もいるので、できるだけ情報を提供し、期待や楽しみが持てるようにした。
- ・入学を希望する小学校の学年主任、予定される担当職員と引き継ぎを丁寧に行う。
(小学校・こども園・電話にて)

(別記5) その他

① 食育活動・アレルギー食について

※食育の取り組み

- ・年齢別に年間食育計画を立て、園児の健やかな食習慣を培うようにした。
- ・コロナ禍の中でも工夫をしながら、野菜の収穫や行事食の提供は行うことができた。しかし、日々の積み重ねであるランチルームでの食事や、黙食のため楽しい雰囲気での食事はできなかった。その分、個々が食事をじっくり味わえるようクラスの担任が働きかけをしていた。

月	活 動 内 容
毎月1回	誕生日給食、給食弁当
4・5月	いちご収穫 そら豆の皮むき
	4/27(火)・・・野菜の苗購入 4/28(水)苗植え(トマト・オクラ)
	5/26(水)・・・芋の苗を購入、苗つけ(畑寺の畑・園庭)
	メロンの苗植え
6月	とうもろこしの皮むき
7・8月	かき氷、すいか割り、海水浴、野菜の収穫 とうもろこしの皮むき
	メロンの収穫
10月	10/7(木)・・・芋ほり遠足(以上児) 園の畑(未満児)
	10/8(金)・・・収穫したお芋をみそ汁に追加
11月	11/18(木)・・・こども園ミニバザーへ提供するクッキーの型抜き(くま・きりん組)
	11/19(金)・・・こども園ミニバザー(たこ焼き・ポップコーン・クッキー)
12月	各部屋でのクリスマスパーティー (サンタご飯・煮込みハンバーグ・トマトスパ・グリーンサラダ)
	白菜ツリー・フルーツ盛り合わせ)
	12/15(水)・・・おでん
3月	3月は卒園児のリクエストメニュー
	3/9(水)・・・たこ焼き
	3/28(月)・・・大根・かぶ収穫

※令和3年度 アレルギー児への対応

	年齢・性別	アレルギー	除去の状況	解除
1	0歳 男児	卵・乳	完全除去	
		その他	きな粉	
2	0歳 女児	卵	完全除去 調理器具・食器等別	R3.9.14～ 調理器具別解除
		乳	完全除去	R3.10.26～ 食器別解除
		小麦	完全除去 (麦茶×) 調味料アレルギー専用	R3.10.26～ 一部変更 醤油・味噌一般使用可
3	1歳 男児	ごま・卵	完全除去	
		小麦	完全除去 R3.12.2 追加 (調味料)はOK	
		大豆	そのものは除去 (豆腐・もやし・調味料)はOK	
		軟体・甲殻類	完全除去	
4	1歳 男児	卵	そのものは除去 つなぎOK カステラ・ケーキ類は×	
5	1歳 女児	卵	そのものは除去 つなぎOK カステラ・ケーキ類は×	R3.7.20 一部解除 全卵1個分摂取・カステラOK
6	1歳 女児	トマト	完全除去	R3.10.6 解除
7	2歳 男児	乳	そのものは除去 (生クリーム・アイス×)	R3.7.26～牛乳開始(1日1回)、8.2～(1日2回)
			チーズ・乳酸菌飲料・乳を含むパン・焼き菓子OK	食パンOK
		卵	半熟以外はOK	R2.7.2 一部解除 卵・つなぎOK
8	3歳 女児	卵	そのものは除去 R2.7.29 一部変更 つなぎOK	R3.6.9 全て解除
		乳	そのものは除去 R2.7.29 一部変更 加工品OK	R3.6.9 全て解除
9	4歳 男児	卵	完全除去 調理器具・食器等別	
		魚	煮魚完全除去 甲殻類OK	R2.4.7 一部解除 魚だし・缶詰・焼き魚OK
10	4歳 男児		魚卵・貝類・甲殻(えび)・柿・山芋・キウイ・ナッツ類除去	
11	5歳 女児	卵	卵そのものは除去(マヨネーズ・アイス×)	つなぎOK(練り製品・焼き菓子)
		乳	乳製品除去(アイス・チーズ・ヨーグルト・プリン・ルー×)	つなぎOK(バター・マーガリン・焼き菓子等)

※他に、2歳男児1名、3歳女児1名ともに鶏卵のアレルギーがあるが、給食で使用しない生卵のみのため人数には含めていない。

②感染症・ケガ等について

感染症	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	参考 2020年度
インフルエンザA型														1
インフルエンザB型														
感染性胃腸炎 (ノロウイルス、ウイルス性胃腸炎、 急性胃腸炎、胃腸炎を含む)	2	6	18							6	2	3	37	7
流行性耳下腺炎														1
クルーズ症候群														2
ヘルパンギーナ			1										1	
溶連菌感染症														1
手足口病				1				12					13	
RSウイルス					15								15	
アデノウイルス	4											3	7	1
扁桃炎	1	1											2	
ヒトメタニューモウイルス														1
突発性発疹	1	2	1	2	1			1	1				9	2
流行性結膜炎											1		1	
水ぼうそう														2
コロナウイルス												1	1	
合計	8	9	20	3	16	0	0	13	1	6	3	7	86	18

※感染性胃腸炎が流行する。保健所に報告し、次亜塩素酸ナトリウムでの消毒、掃除を徹底して行う。感染性胃腸炎の中でもノロウイルス、ウイルス性胃腸炎等々あるが、保健所からも、同時期に流行したものは同じ感染症の可能性があるとされる。昨年と比較し、胃腸炎や手足口病などは、未満児に流行し、同じ日に発症する子が多い。出席停止のしびりがなく、小さい子は、玩具など口に入れることが多いため、細めに消毒を行うようにする。

こども園で手当てをし、保護者に報告したもの(ヒヤリハット報告書)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	参考2020年度
唇のケガ		1 2歳児1名	2 0歳児1名 4歳児1名	5 0歳児1名 1歳児2名 5歳児2名	4 0歳児3名 2歳児1名		3 0歳児1名 4歳児1名 5歳児1名	2 3歳児1名 5歳児1名		3 0歳児1名 1歳児1名 3歳児1名		3 1歳児1名 2歳児1名 4歳児1名	23	12
打ち身等	4 0歳児1名 2歳児2名 3歳児1名	7 0歳児2名 2歳児1名 3歳児2名 4歳児1名 5歳児1名	6 1歳児3名 2歳児2名 3歳児1名	7 0歳児1名 1歳児3名 3歳児2名 5歳児1名	5 0歳児1名 1歳児1名 2歳児1名 4歳児1名 5歳児1名	5 2歳児1名 3歳児1名 4歳児2名 5歳児1名	2 3歳児1名 4歳児1名	5 1歳児1名 3歳児1名 4歳児1名 5歳児2名	3 0歳児1名 1歳児1名 5歳児1名	8 0歳児2名 1歳児1名 4歳児2名 5歳児2名	4 3歳児4名	7 0歳児2名 1歳児1名 3歳児1名 4歳児1名 5歳児2名	63	87
ひっかき	4 1歳児2名 2歳児1名 5歳児1名	4 1歳児2名 4歳児1名 5歳児1名	3 4歳児1名 5歳児1名	3 0歳児1名 5歳児2名	2 2歳児2名	1 5歳児1名		1 5歳児1名	3 0歳児1名 2歳児1名 5歳児1名		1 2歳児1名	3 0歳児1名 2歳児2名 5歳児1名	25	26
かみつ		4 1歳児4名		1 1歳児1名					1 1歳児1名	1 1歳児1名	1 0歳児1名	1 0歳児1名	9	20
すり傷等	2 1歳児1名 5歳児1名	5 2歳児2名 4歳児1名 5歳児2名	7 3歳児1名 4歳児2名 5歳児4名	2 5歳児2名		2 5歳児2名	14 2歳児1名 3歳児5名 4歳児4名 5歳児4名	2 4歳児1名 5歳児1名	1 5歳児1名	3 4歳児1名 5歳児2名		2 3歳児1名 5歳児1名	40	43
軽い火傷		1 5歳児1名											1	
指をつめる				2 5歳児2名									2	5
誤食				1 0歳児1名							1 1歳児1名		2	
爪のケガ						1 4歳児1名							1	1
誤薬												1 4歳児1名	1	1
切り傷	2 2歳児2名	2 2歳児1名 4歳児1名	1 5歳児1名	1 5歳児1名		1 5歳児1名							7	3
脱臼					1 3歳児1名								1	1
とげ											1 5歳児1名		1	
合計	12	24	19	22	12	10	19	10	8	15	8	17	176	

内病院を受診したもの8件(参考2020年度5件)

病院受診のケガ

▷左腕の肘が抜ける…3歳児 夕方、座って遊んでいるときに、手をついて立ち上がろうとしたところ痛いと言いきり始める。接骨院を受診し、肘を入れてもらう。

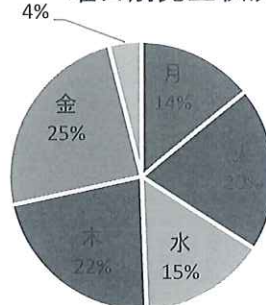
- ▷左足小指の爪…4歳児 自分で爪をはがしてしまい出血する。降園前だったため滅菌ガーゼを当てて処置をする。翌日、爪がない状態のため、わたなべ形成外科を受診するが、経過観察で良いとのこと。
- ▷前歯を打つ…5歳児 遊んでいるときに他児の頭と歯がぶつかり、前歯がグラグラする。歯科を受診する。異常はなかったため様子を見る。
- ▷口を打ち出血…4歳児 鉄棒をしているときに歯をうち、出血する。歯科を受診する。歯自体には異常はないが、2～3日は前歯を使わないように言われ様子を見る。
- ▷右目の上を打つ…5歳児 靴下で歩いているときに滑って転び、椅子の背もたれのステンレスの所で目の上をうつ。少し切れたような感じで血が滲むため、病院を受診する。縫う必要がないとのこと軟膏を塗って様子を見る。念のため翌日、眼科を受診し、目にも異常が見られなかった。
- ▷あごの下を擦る…5歳児 靴下で移動しているときに滑って転び、机であごを擦る。わたなべ形成外科を受診する。皮膚の表面だけで、中は切れてないということで、傷テープで様子を見る。
- ▷とげが右手の親指に刺さる…5歳児 外遊び後に木のベンチの砂を手ではらっていたところ、指にとげがささる。流水やお湯につけ園で処置するが取れなかったため、皮膚科を受診する。とげを取ってもらう。
- ▷唇を打ち出血する…1歳児 テラスで走っているときに、他児と正面からぶつかり口から出血をする。みちだ歯科を受診する。上唇小帯が切れていたため出血していたので、傷部分を消毒し様子を見る。

曜日別のケガの件数

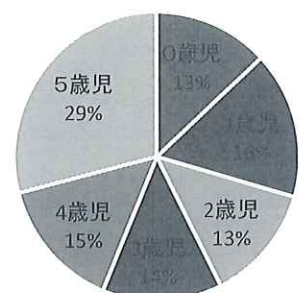
	月	火	水	木	金	土	合計
午前	21	16	20	30	34	6	127
午後	4	19	7	9	9	1	49
合計	25	35	27	39	43	7	176
曜日別 病院を受診したもの							
午前	3	0	0	0	1	0	4
午後	1	0	2	1	0	0	4
合計	4	0	2	1	1	0	8

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
23	29	23	24	26	51	176

土 曜日別発生状況



年齢別ケガの状況



※症状はひどくないが、念のため病院受診をしている。異常がない子や軽い処置、経過観察の子がほとんどであった。

③苦情及び苦情解決の状況について

2021年度の件数 … 3件

▷申請日:2021年12月27日

内容 … 連絡ノートにて一職員(担任ではない)の子どもへの対応について相談がある。該当する職員の働きかけを子どもが怖いと感じて、こども園に行きたくないということがある。

要望 … 子どもが感じていることを担任には分かってほしい。

経過・結果 … お迎え時、保護者・担任・園長で話をする。該当する職員に対しての対応は園長に任せてもらう。園長と担任が該当職員に保護者の話の内容を伝える。今後、子どもへの働きかけを充分気を付けるよう努める。また他の職員ともこの出来事を共有し園全体で取り組む。

▷申請日:2022年2月21日

内容 … 送迎時、保護者等の駐車場利用の仕方について、申し出がある。

要望 … 一部の方ではあるが、マナーが悪いということで今一度駐車場の利用の仕方を徹底してほしい。

経過・結果 … 申し出のあった保護者の話をよく聞きそのことを踏まえて、また園からのお願いも含め翌日、全家庭に文書を出す。理解を示してくださった方も多く、文書の反応も大きかった。しかし周知徹底できていない可能性もあるので、職員も送迎時意識するよう再度確認し合った。

▷申請日:2022年2月28日

内容 … お迎え時(2月25日)、園児が一人で先に門のところにいた。担任はその時の状況を把握できていたのかを心配され、確認で園長に話に来られる。(2月28日) また、その時に伝えた職員の反応に疑問を持たれたとのこと。

要望 … 今後はこのようなことが起こらないようにしてほしい。

経過・結果 … 保護者の話を聞き、迎えにきてくださった方に心配や不安にさせたことをお断りする。担任や関わっていた職員に事実確認をし、再度保護者と話をする。また、担任も直接謝罪を受け入れてくださる。今後、このようなことをおこさないよう職員で意識統一する。

④ 研修参加状況について
2021年度 施設外研修

No.	実施月	研修会名	参加職種	研 修 内 容	場 所
1 中止	2021.4.10	令和3年度 松山市保育会総会		・総会 ・全体研修会 ・講演 演題「魅力ある保育士のススメ」	松山市
2 延期	2021.5.25 ↓ 2021.11.10	令和3年度 発達支援実践研修(第1回)	指導保育 教諭	・講演「特性のある子どもへの理解と支援」	松山市
3	2021.6.1 ↓ 2021.6.15	令和3年度 愛媛県教育・保育施設 初級職員研修会	保育教諭	・講義Ⅰ「愛情深い保育を考える」 ・講義Ⅱ「伝承あそびは子どもの育ちを助ける」 ・講義Ⅲ「保育士として」	オンライン
4	2021.5.20 ↓ 2021.6.2	日本キリスト教保育所同盟 2021年度 新任保育士研修会	園長、主幹 指導、保育 教諭 全員	＜主題＞ キリスト教保育を学ぶ 1.聖書から考えるキリスト教保育 2.日本キリスト教保育所同盟のミッション ステートメントについて 3.キリスト教のお話 4.こどもと歌うさんびか	オンライン
5	2021.6.28 ↓ 2022.2.16	令和3年度 愛媛県保育士等 キャリアアップ研修	主幹保育教諭 指導保育教諭 保育教諭	①乳児保育 ②幼児教育 ③障がい児保育 ④食育・アレルギー対応 ⑤保健衛生・安全対策 ⑥保護者支援・子育て支援 ⑦マネジメント研修 ⑧保育実践研修	オンライン
6	2021.7.7	中堅保育士・保育教諭研修会	保育教諭	講義「保育に活かす“肯定的注目”と“コミュニケーション”」 ～対人援助に大切なこと～	松山市
7	2021.8.3	2021 夏の実技講習会	保育教諭	①感染症に負けない丈夫な体づくり ②心に残る運動会	オンライン
8	2021.7.13	令和3年度 第1回 松山市地域子育て支援拠点事業研修会	保育教諭	アンケートを基にした意見交換、発表 ワーク「支援における共感・傾聴のポイント」	松山市
9 延期	2021.8.26 ↓ 2022.3.4	令和3年度 発達支援実践研修(第4回)	保育教諭	講演「子どもの生活動作と遊び ～体験してみよう～」	松山市
10 中止	2021.8.31	主任保育士・主幹保育教諭研修会	主幹保育教諭	講義「全員活躍するためのあり方とやり方」	松山市
11	2021.9.16 ↓ 2021.9.30	2021年度 第1回子・連職員研修会	全職員	テーマ「コミュニケーション」	オンライン
12 紙面	2021.11.10	保育所等給食・食育担当者研修会		「乳幼児期の口腔機能に着目して食育を考える」	紙面
13	2021.10.4 ↓ 2021.11.7	保育セミナー2021	園長、主幹 指導、保育 教諭 全員	講座①「21世紀型の保育っておもしろい」 講座②「ラララ うたランドコンサート」	オンライン
14	2021.11.8	令和3年度 発達支援実践研修(第5回)	保育教諭	講演「教育相談へのつなぎ方 ～就学に向けて～」	松山市
15	2021.10.21	令和3年度 第2回 松山市地域子育て支援拠点事業研修会	保育教諭	講演「相談者をそっと支えるコミュニケーション」 情報交換・事務連絡	松山市
16	2021.11.25	保育施設等における新型コロナウイルス 感染症等予防対策 ～基本的な知識と技術を身に付けよう～	保育教諭	1.講義 ・新型コロナウイルス感染予防対策に必要な基本的知識・経路 別予防策について ・保育所で必要な感染予防対策(消毒、衛生管理) 2.演習 ・手洗い(手洗いチェッカー使用) ・個人防護具(マスク、手袋、エプロン)	松前町
17	2021.11.10	保育士・保育教諭実技研修会	保育教諭	講義「乳幼児の感染症で気をつけること・その対処法」	松山市
18	2021.11.16	令和3年度 第3回 松山市地域子育て支援拠点事業研修会	保育教諭	講演「子どものことばとコミュニケーション」 グループ討議・情報交換	松山市
19	2021.12.4	令和3年度 第2回新任保育士研修会	保育教諭	①保育士等としての心構え ②不安や悩みの解消方法	松山市
20	2021.11.19 ↓ 2021.12.5	2021年度 中堅保育士研修	園長、主幹 指導、保育 教諭 全員	＜主題＞ キリスト教保育を学ぶ 1.育ち合う感性のなかで 2.愛隣館で大切にしてきたこと	オンライン
21	2022.1.19 ↓ 2022.2.2	令和3年度 愛媛県教育・保育施設長 研修会	園長	講義Ⅰ「保育者の実感が大切！ちょっと気になる子どものSOS」 講義Ⅱ「園が担う防災計画と地域連携等について」	オンライン

No.	実施月	研修会名	参加職種	研 修 内 容	場 所
22	2021.11.27	2021年度 第2回松山市子ども・子育て連絡協議会 研修会	保育教諭	第一部 木製の工作台(ままごとテーブル)作り 第二部 「子どもの心とからだの発達・成長」～発達の理論と実践～	松山市
23	2021.12.16	令和3年度 第4回 松山市地域子育て支援拠点事業研修会	保育教諭	講義「拠点の基本及び拠点での育休中の親子の支え方」 グループワーク・質疑応答	松山市
24	2022.1.24 } 2022.2.6	オンライン てんかん講座	園長、主幹 指導、保育 教諭 全員	テーマ「こどものてんかんと熱性けいれん・教育現場での正しい対応」 講座①「こどものてんかんと熱性けいれん」 講座②「発作時の 正しい対応」 講座③「教育現場での正しい対応」	オンライン
25 中止	2022.1.22	相互研修	保育教諭	「木遊びのすすめ」～たくさん積み木で円筒ドーム作り、 ビーズ滑り台…体の芯から楽しいよ！～	松山市
26	2022.1.22	#となりの園のICT @愛媛	事務員	テーマ「#1 ICT化で保育はどう変わるのか:登降園編」	オンライン
27	2022.1.29	保育に生かすICT勉強会 in 内子	保育教諭	・保育のICTって何? ・導入までにどんなことをすればいいの?	オンライン
28	2022.1.29	令和3年度 第3回新任保育士研修会	保育教諭	「頑張っている新任保育士さんが元気になる研修」	オンライン
29	2022.1.13 } 2022.1.31	松山市人権教育研究大会 オンライン講演会	全職員	演題 命の授業 ～ドリー夢メーカーと今を生きる～	オンライン
30	2022.2.15	令和3年度 保育事業経営セミナー ー 2040年に向けた保育経営 ー	園長	行政説明 処遇改善をめぐる国の動向 講演Ⅰ 人口減少社会を 見据えた保育政策の行方と課題 講演Ⅱ 「死亡・重大事故の防止」の観点から考える保育の質	オンライン
31	2022.2.28 } 2022.4.30	乳幼児と保育者の関係性	園長、主幹 指導、保育 教諭 全員	①乳幼児同士の関係性 ②乳幼児と保育者の関係性 ③保育者同士の関係性	オンライン

新型コロナウイルス関係

	年月日	状況・対応・他
1	2022.1.17 (月)	当日利用していた一時預かり児の父が陽性と母より連絡が入る。すぐに迎えに来ていただく。聞き取りをし、松山市に連絡。濃厚接触者確認のMACメールを一斉送信。翌日母子、保健所にて検査。陰性だったので市の指示のもと、全保護者に園の安全が確認されたことをMACメールにて知らせる。保健所の指導に従って生活してもらう。
2	2022.1.29 (土)	当日利用していた4・5歳児の兄弟の同居している祖母が陽性と父より連絡が入る。すぐに迎えに来ていただく。聞き取りをし、松山市に連絡。濃厚接触者確認のMACメールを一斉送信。翌日、保健所にて同居家族5人が検査。全員陰性だったので市の指示のもと全保護者に園の安全が確認されたことをMACメールにて知らせる。保健所の指導に従って自宅待機をとり1週間後登園となる。
3	2022.2.12 (土)	職員の配偶者が陽性との連絡が週休の職員から連絡が入る。聞き取りをし、松山市に連絡。翌13日(日)職員の陽性が判明。市に連絡、11日(金)も祝日で休みだったこと、マスク着用をしているので職員の濃厚接触者はなしと判断し、保護者への連絡もしなかった。14日(月)に職員全員、抗原検査を実施し全員の陰性を確認する。該当職員は24日(木)から出勤する。
4	2022.3.11 (金)	5歳児の父が陽性との連絡が入る。本児は用心をとって休んでいた。松山市に連絡。濃厚接触者確認のMACメールを一斉送信。濃厚接触者なし、市の指示のもと全保護者に園の安全が確認されたことをMACメールにて知らせる。12日(土)保健所のPCR検査で陰性だった。しかし14日(月)発熱。この段階での抗原検査でも陰性であったが、16日(水)の抗原検査でうっすら陽性となり、23日(水)まで自宅待機となる。
5	2022.3.12 (土)	一時預かり利用児が陽性と母から連絡が入る。聞き取りをし、市に連絡を入れる。11日(金)に発熱をしていることから、利用した9日(水)に一時預かりに預けた利用児9家庭に濃厚接触者にあたると判断し自宅待機をお願いした。(マスクを着用していないため)全保護者に一時預かりで感染者がでたが安全を確認し、保育は継続する旨のMACメールを送信した。
6	2022.3.16 (水)	職員が発熱し陽性の連絡がはいる。市に連絡。濃厚接触者なしで市の指示のもと全保護者に園の安全が確認されたことをMACメールにて知らせる。預けているお子さんの園で感染が拡大していたのでその期間は休んでいた。お子さんも14日(月)咳・鼻水で病院を受診していたが、登園してもよいとのことであった。17日(木)保健所のPCR検査で陽性が判明。発症日は咳をしていた12日(土)に遡る。職員は28日(月)から出勤する。
7	2022.3.29 (火)	3歳児の母が発熱したため耳鼻科受診、抗原検査で陽性。濃厚接触者確認のMACメールを一斉送信。30日(水)保健所のPCR検査で陰性。市の指示のもと全保護者に園の安全が確認されたことをMACメールにて知らせる。本児は新年度を迎えた4月8日(金)から登園する。
8	2022.4.3 (日)	3・5歳児の父が陽性と母から連絡が入る。濃厚接触者確認のMACメールを一斉送信。5日(火)母も症状が出て会社でPCR検査をしたところ陽性が判明。子どもたちは、4月から濃厚接触者の検査の方針が変わったため受けていない。子どもたちは母親が陽性となり、隔離もできないので自宅待機期間が延び、4月25日(月)からの登園となった。

2021 年度(令和 3 年度)
ガリヤ荘 事業報告

〔事業の種類〕

I. 特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設入所者生活介護)	定員 80 名
II. ショートステイ(〔介護予防〕短期入所生活介護)	定員 20 名
III. デイサービス(〔介護予防〕通所介護)	定員 35 名
IV. ホームヘルプサービス(〔介護予防〕訪問介護)	
V. 居宅介護支援事業所(居宅介護支援)	
VI. 在宅介護支援センター(委託事業)	

1-1 ガリヤ荘(全体)

取組事項	取組内容
命と尊厳を守り安心して生活できる施設づくり	① 基礎介護力を高め、すべての利用に対し穏やかな生活を提供できるために、トータルケア(総合的視点による予防的ケア)の知識・技術の向上を実践する。(目標:中心スタッフの外部研修参加、フォードバックのための内部研修開催) ■ 外部研修参加 (新型コロナウイルス感染症対策として、主にオンライン参加) ■ 内部研修開催 (新型コロナウイルス感染症対策として、主に書面開催) ② 利用者の人権尊重、プライバシー保護を徹底するとともに身体拘束廃止、虐待防止、事故防止に努める。(目標:各委員会による検討・分析・評価を行い、情報共有、ケア方法の見直しをより多く実現する) ■ 総合委員会を立ち上げ、各委員会活動報告の情報共有、検討会を開催 ■ 内部研修開催(身体拘束虐待防止[2 回]、リスクマネジメント[2 回]) ■ 朝礼(全体/各部署)の開催[月～土] ③ 健康管理。服薬管理を徹底し、またトータルケアを実践することで、病気の重症化や再発予防に努める。(目標:記録管理及びダブルチェックによる異常の早期発見と医療連携) ■ 利用者・入所者の状態をダブルチェックする検討会(毎週)開催 ■ ミールラウンドによる摂食嚥下機能検討/評価の開催[月 1 回] ■ 衛生管理委員会(1-2 回/月)開催(新型コロナウイルス感染症対策会義を含む) ■ 内部研修開催[4 回](うち 2 回感染対策訓練) [インフルエンザ/ノロウイルス発症 0]
自立支援に視点を置き、個別性を尊重した、より良質なケアサービスを提供する	① アクティビティ(行事・レクリエーション活動など)を充実させスタッフも共に楽しむことで暮らしが豊かになる環境を創る。(目標:年間計画を作成し、計画的な実践を行う) ■ 全体行事について新型コロナウイルス感染症対策により中止 ■ 通所及び特養短期ユニットについて、毎月小規模による行事開催 ② ノーリフティングケアの実践を定着させ、ケアスタッフの介護技術向上に努める。(目標:技術の定期確認と福祉用具の適切運用管理) ■ 新人職員に対する研修実施 ■ 多職種共同による個別ケースの評価と実践 ③ 在宅サービスをトータル的にサポートし、個別ニーズに応じた必要なサービスを提供できるよう支援する。(目標:在宅委員会による困難ケースの共有、地域関係期間との連携)

	■ 地域包括支援センターとの連携[各種会議・研修参加] ■ 関係機関との連携(東温市生活支援協議体、介護ネット東温、東温市健康相談) ■ 在宅委員会開催[12回]
地域における福祉拠点となるよう、福祉また社会ニーズを捉え、地域との交流を充実する。	① 地域における公益的な取組として、地域活動の推進を継続する。(目標:男性介護者対象のおとこ塾・地域サロンへの出前講座など、積極的に実施する) ■ 地域サロンへの出前講座 (新型コロナウイルス感染症対策としてすべて中止) ■ おとこ塾(男性介護者支援の会) (新型コロナウイルス感染症対策としてすべて中止) ② 地域交流の機会を積極的に実践する。(目標:地域の幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校との交流会、各種ボランティアの受入を積極的に行う) ■ 各交流会開催(川上幼稚園、川内保育園、川上小学校) (新型コロナウイルス感染症対策として中止) - 一部オンライン交流会を開催(川上小学校) ■ 各ボランティア受入 (新型コロナウイルス感染症対策としてすべて中止) ■ 地域自主防災組織連携(防災合同訓練) (新型コロナウイルス感染症対策として中止) ③ ホームページ・ブログを定期的に更新し、情報発信を積極的に行う。(目標:ホームページを中心として情報発信をする。ブログを全事業所毎月更新する)(検討課題:広報誌を検討し、年4回の発行を目指す) ■ ブログ配信について特養短期以外の更新は未実施(https://www.ailinen.jp/) ■ 広報誌の作成未実施
スタッフ個々の基礎介護力と実践力の向上を目指す。	① 全職員・全職種を対象とした研修を継続実施し、最新の知識・技術と合わせ、専門性と実践力の向上を図る。 ■ 主任(リーダー含)以上参加による研修会開催(新型コロナウイルス感染症対策として、主にオンライン参加) ■ 内部研修開催(新型コロナウイルス感染症対策として、主に書面開催) ■ 専門書籍、最新情報等の全体回覧の実施 ② 新任・中途採用者教育を継続実施し、エルダー面談、定期面談を計画的に実施する。 ■ 入職時新人研修及び、半期フォローアップ研修開催 ■ エルダーによる個別面談開催 [令和3年度入職者離職0]
やりがいを感じ働きやすい職場づくり、離職者ゼロを目指す。	① リフレッシュ休暇による有給休暇(8連休または4連休×2回)の計画的付与を行う。※(年休6日+公休2日) ■ リフレッシュ休暇取得推進(計画取得済) ② 委託期間によるメンタルヘルス対策、ストレスマネジメントに積極的に取り組む。 ■ ストレスチェック実施(NPO 法人こころ塾との従業員支援事業委託) ■ メンタルヘルスに関する情報提供及 ■ メンタルヘルスフォローアップ研修及び新人職員個別面談開催[1回] ③ 継続的に業務改善に対する検討を図り、サービス残業ゼロを目指す。 ■ 各業務の効率化に関する協議(5S推進委員)開催 ■ 各会議・研修等、勤務時間中開催の推進 ④ スタッフの成長とチームワーク向上、ユニット活動の活性化を目的とし、ユニット間の人事異動を定例実施する。 ■ 特養短期介護職員ユニット移動実施[令和4年4月1日]

各業務の可視化・標準化における介護ロボット・ICTなどの導入を目指し、2025年に向けた既存事業の強化を図る。	① 目的と効果を明確にした介護ロボット・ICT等の導入を研究・試用し、基盤整備に取り組む。 ■ 情報収集のみ。 ② 在宅サービス利用者数の増加及び入所稼働率向上に向けた魅力ある事業所づくりを進める。(短期・通所・訪問の市場拡大の検討、特養待機者の確保、各種加算の取得) ■ 運営会議/在宅委員会開催[毎月]し協議検討実施。 ■ 部課長会議開催[1-2/月]し課題整理実施。 ■ 各事業所・部署会議開催[1回/月]し情報共有。 ③ 事業所毎の適正な予算編成と管理を行い、ムリ・ムラ・ムダのない運営を実践する。(5S推進チームの立ち上げ) ■ 運営会議開催(5S推進委員会含む)し各事業所毎月の稼働実績を正確に把握。 ■ 各種消耗品等の在庫整理の見直し実施
快適な居宅環境の整備をすすめ、感染症対策また防災防犯対策を強化する。	① 移転後10年以上経過し、設備・環境についての経年劣化に対する修繕計画を策定し、計画的に実行する。 ■ 各倉庫・書庫の整理を実施。屋外倉庫を追加設置し各種備蓄等を含め保管場所整理を実施 ■ 各種洗面温水機器、居室エアコン不具合における修繕実施 ② 感染症対策を強化し必要物品の確保、予防の徹底を行う。特に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策について徹底し大規模クラスター発生防止に努める。 ■ 新型コロナウイルス感染症対策会議定例開催し、周知徹底事項について全職員への情報発信(資料配布)を実施。 ■ 感染対策時の必要物品の備蓄量管理の実施。 ③ BCPに基づき、大規模災害に対する対策に努める。また地域(行政・地域住民(自主防災)との連携に努める。(目標:定期防災訓練・防犯訓練の実施、福祉避難所訓練の実施、地域防災活動との連携) ■ BCP(事業継続計画書)を完成に向けた検討会議開催。 ■ 各種訓練の開催(新型コロナウイルス感染症対策として、一部中止、また規模縮小開催)

1-2 新型コロナウイルス感染症対策に関する報告

① 感染対策設備・備品

①-1 必要物品のリスト化し、感染対策備品管理を実行

- ・ 不織布マスクについて全スタッフへ定期支給
- ・ フェイスシールドの支給及び、食事介助時の装着
- ・ 共用箇所への手指消毒用アルコール(足踏み式)の設置
- ・ 防護具セットの準備と設置(初期対応分)
- ・ 非接触型体温計、パルスオキシメーターの設置及び必要スタッフの携帯(訪問介護員等)

①-2 感染対策設備(環境)

- ・ 玄関風除室の再整備(訪問者の感染対策)
- ・ デイサービス利用者の出入り場所変更継続
- ・ 職員出入口の再整備(職員の感染対策)
- ・ 食事テーブルへの飛沫防止パネルの設置(デイサービス)(特徴短期ユニット)
- ・ オゾン発生装置(有人/無人除菌用)の設置(事務室・会議室・面談室/ほか)
- ・ デイサービススタッフのインカム対応継続

② 事業所の対応

②-1 特別養護老人ホーム

- ・ 面会方法の見直し(窓越し面会・面談室面会・オンライン面会)
- ・ 各ボランティア・訪問理美容・訪問マッサージ 等の受入見直し
- ・ 全体イベントの見直し

②-2 短期入所(ショートステイ)

- ・ 受入時の健康状態の確認
- ・ 新規利用・受入期間の調整
- ・ 面会方法の見直し(窓越し面会・面談室面会・オンライン面会)
- ・ 各ボランティア・訪問理美容・訪問マッサージ 等の受入見直し
- ・ 全体イベントの見直し

②-3 通所介護(デイサービス)

- ・ 受入時の健康状態の確認
- ・ 新規利用・受入期間の調整
- ・ 体験利用等の調整
- ・ 各ボランティア 等の受入見直し
- ・ 全体イベントの見直し

②-4 訪問介護(ホームヘルプ)

- ・ 受入時の健康状態の確認
- ・ 新規利用・受入期間の調整

②-5 居宅介護支援

- ・ 各事業所・地域との連携

③ スタッフの対応

③-1 行動自粛制限

- ・ 県内・市町の感染状況に合わせて、行動自粛制限を実施(同居族を含め)
- ・ 県外移動、移動者との長時間接触について、事前申告し、必要期間自宅待機及び抗原検査等を実施(同居家族を含め)

③-2 体調管理

- ・ 出退勤時2回の検温測定実施(非接触型体温設置)
- ・ 体調不良はすべて自己判断せず、自宅待機の上、受診結果対応の実施(同居家族を含め)
- ・ 抗原検査キットを確保し、必要時使用(あきらかな症状がある場合は受診指示)

③-3 施設内移動制限

- ・ 所属先からの移動は最低限とし、更衣室・休憩室の使用制限(3密回避)
- ・ 会議等は最低限とし、書面による開催・オンラインによる開催実施。

③-4 社宅等の利用

- ・ 同居家族に疑うべき症状や要因がみられ、勤務に支障が出る場合は、希望に応じて、社宅を使用。

2. I. 特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設入所者生活介護)

2-1 入所者の状況(令和4年3月31日現在)

【入所・退所状況】

待機者数(令和4年3月末現在 34 名)

入 所			退 所		
男	女	計	男	女	計
5	16	21	8	13	21

【年齢構成】

	男	女	全体
入所者数	17	63	80
平均年齢	86.5	89.6	89.0
最高齢	99	104	-
最年少	71	67	-

【要介護度別人数】

要介護度	男	女	計
1	0	1	1
2	0	0	0
3	4	13	17
4	6	34	40
5	7	15	22
平均	4.1	4.0	80

2-2 医療の状況

【入院状況】

	実人数	延日数
4 月	5	60
5 月	8	140
6 月	8	75
7 月	7	108
8 月	9	114
9 月	7	149
10 月	6	73

	実人数	延日数
11 月	3	28
12 月	5	68
1 月	9	125
2 月	2	24
3 月	3	72
合計	74	1036
月平均	6	86

【入院疾患別人数(延人数)】

疾患名	今年度	前年度
肺炎	12	10
尿路感染	1	4
肝機能障害・胆のう炎	2	0
腸閉塞・腸炎	8	3
心疾患	12	6
脳梗塞	2	2
骨折	3	3
その他	10	14
合計	50	42

【医療管理状況】

医療行為	今年度	前年度
胃ろう	6	7
在宅酸素療法	0	2
人工肛門	0	1
尿道留置カテーテル	3	2
インシュリン注射	0	0
痰の吸引(常時)	3	0
合計	12	11

※緊急搬送回数 0 回 (前年度 1 回)

《総評》

入居者の重度化は介護度に現れにくいですが、年々増しており、個人の抱える疾患がとて多く、昨年度と比較しても吸引などの医療管理の必要度が高まっている。また嘱託医の病床が地域包括ケア病棟になり長期入院が可能であるが、反面、病状が悪化しないように医療連携を図りながら施設ケアを充実させていきたい。コロナ禍に集合研修を制限している中で、介護スタッフの専門知識や技術が低下しないよう、令和4年度は正しい介護の知識・技術の見直しと再教育をしていきたい。

2-3 機能訓練の状況

【週間スケジュール】

	担当	月	火	水	木	金	土
午前	ユニット職員	集団体操(各ユニットにて)					
	機能訓練指導員	個別機能訓練(南1)	ダブルチェック	個別機能訓練(中1)	個別機能訓練(中2)	個別機能訓練(南2)	個別機能訓練(フリー)
	ユニット職員	お口の体操(各ユニットにて)					
午後	機能訓練指導員	レクリエーション:風船バレー・音楽クラブ(各週1回程度) クラブ活動:縫布クラブ(第1火曜)・習字クラブ(第2水曜) 俳句会(第4水曜)※新型コロナ感染症対策として句会のみ中止					
	理学療法士(非常勤)		個別機能訓練 練宮岡PT			個別機能訓練 練宮岡PT	

【機能訓練内容】

職種	内容	
ユニット職員	生活リハビリ	離床、ポジショニング・シーティング、口腔ケア・リハ、座位・立位訓練など
	集団体操	朝の集団体操、お口の体操
機能訓練指導員	個別機能訓練	関節可動域訓練、ポジショニング・シーティング、口腔リハ、座位・立位訓練など
	集団活動	集団体操(朝の集団体操、お口の体操) 集団レクリエーション(音楽クラブ、風船バレーなど)

理学療法士(非常勤)	個別機能訓練	関節可動域訓練、ポジショニング・シーティング、立位、歩行訓練、生活リハビリの指導など
------------	--------	--

【外部専門家によるスーパーバイズ】

	内容
河野歯科医師	・個別の歯科治療(随時) ・「基本サービスとしての口腔衛生の管理体制」のための技術的助言・指導(年2回) ・「口腔衛生管理体制加算」のための介護職への口腔衛生指導(月1回) ・「口腔衛生管理加算」のための口腔内チェック(月1回)
阿部歯科衛生士	・「口腔衛生管理加算」のための口腔ケア(月2回) ・「経口移行」「経口維持」のためのミールラウンド(月1回)

【機能訓練実施状況】

機能訓練内容	延べ人数
①身体運動機能(うち宮岡 PT)	788(659)人
②摂食嚥下機能	87 人
③認知言語機能	7 人
④集団活動	1415 人

《総評》

- ① 食事・口腔ケア:月1回のミールラウンドに加え、必要時に多職種で随時実施し検討してきた。中には、困難なケースもあったが、困難であればあるほど基本に忠実に実施することが大切だと実感した。基本を再度周知することが必要だと考える。口腔ケアは、介助が必要な方はとても良好だが、自力の方の口腔内の確認が不十分なことが散見されたため注意していきたい。お口の体操は新型コロナウイルス感染症対策として、小集団で実施しており継続していきたい。
- ② 排泄ケア:スカイリフトやトイレ用スリングシートを使用して、トイレ使用が継続できている人がおり、適切に使用できているケースが増えていると実感している。知識・技術面において、適切な人に適切な方法で実施できるように、再度導入方法を周知徹底するとともに、機器の使用方法等についても再確認できるシステムを検討していきたい。
- ③ ノーリフティングケア:機器の使用以外にも介助グローブやスライディングシートの使用が普及してきておりよい傾向だと考える。ポジショニング・シーティングについては適宜実施し、必要時には PT を含め多職種で検討行っている。特に困難事例への対応は課題である。

2.-4 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容
トータルケアの実践 多職種協働システム	《全部門》 ■ 総合記録シートを活用したケア向上の継続実施〔記録システムの継続〕 ■ オペレーションシート(シフトマニュアル)を活用した統一したケアの実施〔業務マニュアルの継続〕 ■ 多職種連携室を情報共有拠点とした会議、ミーティングの実践〔多職種共同による情報共有〕 《ノーフティンクケア》「目的」:入所者の拘縮予防及び職員の腰痛予防のため。 【研修関係】 1. スカイリフト研修を新人研修内で実施。(R3.4.) 2. 新規使用者への導入時に随時研修実施し、使用状況チェック実施。 【福祉機器の使用状況】 ● 移乗時:床走行式リフト(24人)/フレックスボード(2人)/スライディングボード(5人) ● トイレ・入浴時:スタンディングマシン(4人) ● 利用者の変化としては、座位姿勢がよくなった、笑顔や会話が增えた、便が出やすくなったなどの回答があった。 ● 介護者に関しては、腰痛や疲労が減ったと多くの人が回答していた。 ● 課題としては、対象者が少ない、使用時操作等難しいことがある、などが挙げられた。 【腰痛調査アンケート結果】 ● 腰痛あり(常に痛い～たまに痛い)R1.5 月 67.3%→R2.1 月 53.1%→R3.3 月 63.0%→R4.3 月 72.7% ● 上記のうち(常に痛い)人は R1.5 月 8.4%→R2.1 月 6.3%→R3.3 月 5.2% →R4.3 月 6.4%

2.-4 ユニットの取り組み

【中1丁目】

年間ユニットイベント(実績)

4 月	お花見昼食会	10 月	芋炊き
5 月	お好み焼きパーティー	11 月	どら焼きづくり
6 月	七夕飾りづくり/喫茶(手作りおやつ)	12 月	クリスマス会 / 忘年会
7 月	たらいそうめん	1 月	新年会
8 月		2 月	節分豆まき
9 月	お月見団子づくり	3 月	ティーパーティー

基本ケア 食事・排泄	食事に関しては入所者の状態の変化や体調に気づき、その時の状態に合わせながら無理せず介助等に取組むことができた。排泄に関してはオムツ交換ではパッドの当て方を意識しながら取組むことができた。皮膚トラブルに関して全体的に増加傾向にあり、皮膚の変化や清潔保持にさらにつとめていきたい。
基本ケア 認知症	相手の気持ちを考えながらその方にあった関わりができた。入所者の価値観や思いを大切に考え、それらを理解できるよう落ち着いた関わりにつとめていきたい。

イベント企画 及びアクティビティ	コロナ禍により、入所者に我慢していただくことも多く、そのことをスタッフが自覚して、毎月のイベントを大事にすることができた。入所者に楽しく過ごしていただくために、スタッフも同じ気持ちで楽しむ姿勢を大切にすることができた。今後はイベントに限らず、日常の喜びや楽しみに対しても同じように、寄り添いながら色々と工夫していきたい。
ユニット環境 及び衛生管理対策	季節に合わせたユニットの飾りつけ実践することができた。飾りつけについては入所者にも手伝っていただくことで、自分の役割や楽しみにつながった場面をみられた。衛生管理対策については、共有すべき事項を徹底し、スタッフ全体で点検しながら感染対策につとめることができた。
スタッフの連携 ・情報共有	入所者の状態の変化等、報連相において、スタッフ間での理解・把握不足につながるケースもあったことから、全体で密な情報共有、連携が行えるよう意識していきたい。

【南1丁目】

年間ユニットイベント(実績)

4月	お花見昼食会	10月	芋炊き
5月	喫茶	11月	手作りおやつパイキング
6月		12月	クリスマス会 / 忘年会
7月	たらいそうめん	1月	新年会
8月	すいか割り	2月	節分豆まき
9月	おはぎづくり	3月	甘酒づくり

基本ケア 食事・排泄	入所者の状態に合わせてケア方法の見直しなど適切に行うことができた。食事介助が必要な入所者も増えており、食事の形状や食事の姿勢について、多職種と検討し連携を図りながらアプローチすることができた。
基本ケア 認知症	入所者とのかかわり方をていねいに実践することができているが、認知症の種類またその症状の理解不足から、関わりかが難しいケースもみられたため、スタッフの知識・技術をさらに習得し、その理解を深めていきたい。
イベント企画 及びアクティビティ	季節に合わせたイベントを企画し実践することができた。食事会だけでなく、入所者に楽しんで体験いただける工夫(チョコレートフォンデュや豆まきなど)ができた。
ユニット環境 及び衛生管理対策	季節に合わせた飾りつけなどを実践できた。感染対策について汚染物の処理、消毒や定期換気など、日によって対応にムラがみられたため改善につとめた。
スタッフの連携 ・情報共有	スタッフ間の連携、情報共有を密にとり、特に食事介助が必要な方、転倒リスクの高い方に対するアプローチを丁寧に実践することができた。

【中 2 丁目】

年間ユニットイベント(実績)

4 月	お茶会	10 月	芋炊き
5 月	散歩	11 月	季節のおやつ作り
6 月	手作りおやつ	12 月	クリスマス会 ・ 忘年会
7 月	そうめん流し	1 月	新年会
8 月	すいか割り	2 月	節分豆まき
9 月	お月見団子づくり	3 月	ひなまつりパーティー

基本ケア 食事・排泄	食事に関して、入所者の状態を把握し、ケアすることができた。摂取量が減少する場合の状況把握と工夫も密に行うことができた。排泄に関して、排泄のタイミングを把握した個別ケアの実践を継続することができた。
基本ケア 認知症	優しく丁寧な関わりを意識し、対応することができた。しかし訴えの多い方や精神的に不安定な方に対して、さらに穏やかに過ごすことができるよう工夫や配慮に努める必要があると感じるケースがみられた。
イベント企画 及びアクティビティ	イベントに関して計画どおり実践することができた。日中の活動について、手作業や散歩、個別での関わりなど継続することができた。
ユニット環境 及び衛生管理対策	季節に応じた飾りつけを実施することができ、入所者も喜ばれている。ユニット内の書庫や倉庫の整理を定期的に確認することができたが、乱雑になることもありさらに工夫していきたい。衛生管理について、換気、消毒など、基本的な対策を徹底することができた。
スタッフの連携 ・情報共有	業務の引継ぎにおいて伝達漏れもなく対応することができている。スタッフ間で連携を密にとり声掛けを行うことができた。

【南 2 丁目】

年間ユニットイベント(実績)

4 月	お花見昼食会	10 月	芋炊き
5 月	手作りおやつ	11 月	スイートポテトづくり
6 月	あじさい鑑賞	12 月	クリスマス会 / 忘年会
7 月	たらいそうめん	1 月	新年会
8 月	すいか割り	2 月	節分豆まき
9 月	お月見団子づくり	3 月	春のお茶会

基本ケア 食事・排泄	食事では、その人にあった自助具などへの工夫が不足しており改善が必要なケースがみられた。看取りケアの入所者への介助など丁寧に実践することができた。
基本ケア 認知症	入所者とのかかわり方をより丁寧に行う必要があり、声のかけ方やトーンなど、スタッフの技量に差がみられ、統一した関わりができるようつとめていきたい。
イベント企画 及びアクティビティ	イベントについて計画通り実践することができた。日中の余暇活動が少なく、さらに工夫してアプローチできるよう取組んでいきたい。

ユニット環境 及び衛生管理対策	居室の清掃など不十分になる場面・状況があり改善が必要なケースがみられた。衛生管理について全体での周知事項の把握と徹底が不足し改善が必要なケースがみられた。
スタッフの連携 ・情報共有	情報共有の手段・方法により、スタッフ間の連携が不十分となるケースがみられ改善が必要なケースがみられた。

《総評》

基礎介護力の継続と合わせ、排泄ケア方法、ノーリフティングケア方法の工夫を継続的に実践することができた。しかし通常対応が難しい困難なケースなどの検討や応用的な工夫において課題が残り、さらに現場スタッフの育成を図りたい。また前年度に比べて骨折事故が複数発生した。直接要因となる転倒や転落だけではなく、介護場面において発生したと推測されるケースもみられた。入所者の状況について、平均要介護度 4.0(年度末)には表れにくい、身体的・精神的な重度化傾向の中、より丁寧なケアを実践できるよう多職種連携のもと、努めていきたい。全国的な新型コロナウイルスの蔓延に伴い、これまでとは異なる各対応や取組(イベントや研修等の中止など)となったことを振り返り次年度の課題としていきたい。

3. II. ショートステイ(〔介護予防〕短期入所生活介護)

3.-1 利用状況(令和4年3月31日現在)

【利用状況】

延べ人数	男	女	計
予防短期入所	4	67	71
短期入所	1781	4110	5891
合計	1785	4177	5962
平均利用者数	4.9	11.4	16.3

実人数	男	女	計
東温市	21	42	63
松山市	4	1	5
砥部町	0	0	0
松前町	0	0	0
合計	25	43	68

【要介護度別延べ人数】

要介護度	男	女	計
要支援1	4	0	4
要支援2	0	67	67
要介護1	52	243	295
2	576	377	953
3	463	2192	2655
4	577	760	1337

5	113	538	651
計	1785	4177	5962
平均要介護度	3.1	3.2	3.2

3-2 ユニットの取り組み

【北2丁目】

年間ユニットイベント(実績)

4月	お花見昼食会/ティーパーティー	10月	芋炊き
5月	豆ごはんづくり	11月	お好み焼き
6月	新茶会	12月	クリスマス会 / 忘年会
7月	たらいそうめん	1月	新年会
8月	ところんづくり	2月	節分豆まき
9月	ホットケーキ作り	3月	ちらし寿司づくり

基本ケア 食事・排泄	排泄ケアについて、随時交換をスムーズに行うため、排泄エプロンを増量し各居室へ設置した。
基本ケア 認知症	認知症症状により、訴えや不穏がみられる方に対するかかわり方を統一することができた。スタッフの言葉遣いについては、丁寧な言葉をつかえるようスタッフ間で引き続き、意識していきたい。
イベント企画 及びアクティビティ	スタッフで検討しながら、新しいイベント企画を行いながら実施することができた。A DLの高い利用者に対する体操など習慣化することができはじめた。
ユニット環境 及び衛生管理対策	スタッフにより対応に差がみられるケースがあり、統一した各対応ができるよう改善につとめていきたい。
スタッフの連携 ・情報共有	スタッフ間で声をかけあい、連携を密にとることができている。

《総評》

「安心した在宅生活を送れるよう支援する」ため、総合記録シートを活用し、困難ケースにおいては多職種間で情報を共有しケア方法関する検討を行った。また新規利用者獲得等、居宅介護支援事業所や近隣病院等への広報活動や情報サイトの空室情報など積極的に対応することができた。実績として、前年度に比べて稼働率が上昇につながった。定期利用者の獲得で安定した稼働率が長く続くようになり、空床状況をユニットと把握して整理することで、緊急受入利用者への柔軟な対応やロング利用者も引き続き利用受付できるよう準備をしていきたい。今後はさらに定期的に近隣病院に対して広報活動に力を入れていきたい。

4.Ⅲ. デイサービス(〔介護予防〕通所介護)

4-1 利用者の状況(令和4年3月31日現在)

【利用状況】稼働日数 311 日

延べ人数	男	女	計
通所介護	2,195	4,639	6,834
総合事業(独自)	225	1,148	1,373
総合事業(A型)	0	0	0
合計	2,420	5,787	8,207

登録者人数	男	女	計
東温市	23	48	71
松山市	1	0	1
合計	24	48	72

【要介護度別延べ人数】

要介護度	男	女	計
事業対象	0	0	0
要支援1	130	127	257
要支援2	95	1,021	1,116
要介護1	659	1,402	2,061
2	1,194	1,936	3,130
3	197	1,018	1,215
4	136	149	285
5	9	134	143
計	2,420	5,787	8,207
平均要介護度			1.7

4-2 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容
個別ケアの実施	① 在宅版総合記録シートを活用。情報の共有による個々の体調管理をサポート。ノーリフティングケアや口腔ケア等きめ細やかなサービス提供を目指す。 ■ ミーティングの強化(朝礼・終礼)による情報共有の実施 ■ 在宅版総合記録シート、送迎シートの活用 ■ HOL(happiness of life)の提供を目指して、アクティビティの充実を図り、利用者の笑顔を増やす。 ■ 紙芝居劇場やスタッフの趣味特技(ギター・篠笛など)を活かしたアクティビティの実践 ② マシントレーニングや個別機能訓練等に取り組むことにより、利用者の在宅生活継続と身体機能の維持を目指す。 ■ マシントレーニングの実施(利用者約7割実施)。体力測定(利用者約4割実施) ■ 小集団体操(5名以下)の強化

	■ 歩行訓練を楽しく実施していただくために、88箇所スタンプラリー開始 ③ 認知症利用者が役割を持ち、在宅で穏やかに生活できるように寄り添った支援をする。 ■ 奉仕活動(洗濯物干し、洗濯たたみ、メモ紙づくり、シール貼りなど)の実践 ■ 脳トレプリントの工夫(スタンプラリーによる景品提供)による意欲向上
地域との交流	① 地域サロン等へ参加し、地域住民との関係を深める。 ■ コロナの影響で地域サロン参加できず ② 突合や意見交換会などへの参加により、地域の動向を知り、介護・医療連携を図ることができる。 ■ 突合が開催された月は参加したが、コロナの影響で中止になることが多かった。 ■ 意見交換会も中止 ③ ボランティアの受け入れや地域(保育園・学校等)、家族(家族会等)との交流の充実を図る。 ■ 麻雀ボランティア2名依頼し、麻雀実施。ボランティアは現在休止中。 ■ 近隣の小中学校、幼稚園等の卒業・卒園シーズンにメッセージカードを届けた
職員研修	① ノーリフティングケアの環境整備や勉強会を実施し、利用者や職員の身体的負担軽減を図る ■ デイにリフトはあるが、勉強会や使用には至っていない。 ② 施設内・外研修への参加や他施設への見学を行い、基礎介護力とサービスの質の向上を目指す。 ■ 内部研修については概ね文書回覧。 感染症の研修全員参加。毎月デイ向上会でデイでの勉強会を実施。 ■ 各種オンラインでの研修に参加。 ③ 業務内容の見直し(記録システムの改善、休暇取得できる体制作り等) ■ インカムを導入した。 ■ 休暇の希望確認をして、希望の日に休めるよう調整できた。
安定運営の確保	① 毎月の実績に関心を持ち、車輛や備品管理等のコスト意識を高める。 ■ 毎月デイ会議内で利用者の動向を共有して、コスト意識に関する周知 ■ 送迎車両へのドライブレコーダーの導入による安全運転意識の向上し、事故減少。車輛の小さな傷や脱輪などあり。安全運転の勉強会実施。 ② 行事予定表とブログの充実を図り、広報・営業活動を通じて新規利用者の獲得を行う。 ■ 行事予定表の工夫(スタッフの若い頃の写真連載、新しいレクの紹介など)、HOLのブログでの取り組み発信 ■ 居宅介護支援事業所訪問でのPR活動(体験利用者 44 名、新規利用者 38 名) ③ 安定した運営のためのコスト意識をもち、新たな加算取得を目指す ■ 3 年度、「口腔栄養スクリーニング加算」9 割の利用者に追加

4-3 その他の状況

内容	件数	備考
苦情解決件数	1	送迎車輛の運転に関する苦情の電話
事故報告件数	16	内、受診を伴う市への事故報告 3 件
ヒヤリハット件数	35	

《総評》

4 月から 10 月まで順調に稼働していたが、11 月頃より入院、入所、死去などに伴い、急激に実績が減少した。新型コロナウイルス感染症に伴う利用控えの影響も多少は要因と考えられるが、新規利用者数と終了利用者数の差が開き、実績に影響した。新規利

用獲得については、広報活動不足が要因として考え、今後はチラシを毎月作成し、営業活動に力を入れていきたい。またサービス内容においては、感染対策を考慮しながら、アクティビティを充実させられるよう検討し、利用者が楽しみ、利用継続につながるように取り組んでいきたい。

5. IV. ホームヘルプサービス(訪問介護)

5-1 利用者の状況(令和4年3月31日現在)

【利用状況】

延べ件数	男	女	計
身体介護	342	658	1000
身体生活	156	578	734
生活援助	650	1175	1825
訪問型独自	336	737	1073
計	1484	3148	4632

【要介護度別延べ利用人数】

要介護度	男	女	計
要支援1	29	163	192
要支援2	307	574	881
要介護1	127	1345	1472
2	846	356	1202
3	0	163	163
4	43	503	446
5	132	44	176
計	1484	3148	4632

【要介護度別延べ人数】

要介護度	男	女	計
事業対象	0	0	0
要支援1	4	29	33
要支援2	22	51	122
要介護1	30	111	141
2	37	16	53
3	0	22	22
4	0	17	17
5	15	2	17
計	108	248	356

5-2 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容
在宅生活の維持	① ケアマネジャーやサービス事業者と情報共有を密にしながら利用者の体調管理に努める ② サービス担当者会議へ参加し関係機関との情報交換を図る ③ 利用者だけでなく、家族との交流も深め、問題の把握に努める。
職員研修	① 施設内研修への参加を通し全体の資質の向上を図る。 ② ホームヘルパー会(毎月)を開催しヘルパーの専門性の向上と情報共有を図る ③ 介護ネット(東温市)や、各事業所間の突合へ参加し意見交換や情報収集を図る
安定運営の確保	① ホームヘルパー会での安全なサービス提供や接遇に関する学習を図る ② 介護支援専門員と連携し、広報活動を積極的に行い、新規利用者の獲得を目指す ③ 東温市のみにとこだわらず、通勤範囲内で松山市を含めた訪問先を増やしていく。

5-3 その他の状況

内容		備考
苦情解決件数	0	
事故報告件数	0	

《総評》

利用者の実人数は5月から増加傾向となり、介護予防が R3.4月では8名の利用だったが、R4.3 には16名になっている。支援内容は生活援助のみが介護、予防含め全体の6-7 割となっている。身体介護等、支援の内容によっては、高齢の登録ヘルパーが多いことから対応が困難な状況がみられ始めており今後の課題である。しかし経験年数の多いヘルパーが多いため、きめ細やかな利用者に合った介護が行えているおり、苦情等につながるケースも発生していない。毎月のヘルパー会等を通じ、ヘルパー同士の情報のやり取りもスムーズに行えて、自宅での生活の支援が行えており、継続していきたい。

6. V. 居宅介護支援事業所(居宅介護支援)

6-1 利用者の状況(令和4年3月31日現在)

【利用状況】 居宅サービス担当 月間人数 予防 18 件 介護 92 件 暫定利用 0 件

利用者	予防		介護	
	男	女	男	女
東温市	3	15	29	63
松山市	0	0	0	0
計	3	15	29	63
	18		92	

【要介護度別利用人数】

要介護度	男	女	計
要支援 1	1	5	6
要支援 2	2	10	12
要介護 1	9	23	32
2	8	23	31

3	6	8	14
4	4	7	11
5	2	2	4
計	32	78	110

6.-2 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容
在宅生活の維持	① ニーズに適した多様なインフォーマルサービスのプランへの位置付け。 ② 家族全体を包括的に支援するマネジメントの実施。 ③ ケアプランチェックにより、プラン内容や表現など、適切な評価が行えるプランニング技術の向上。
資質向上	① 専門課程の外部研修を受講し、最新の個別援助技術を身につける。 ② 在宅での生活の段階からデータの収集と評価をケアマネジメントへ活用。 ③ 地域包括支援センターと協働し、地域全体の課題の表出や問題の提起。
地域活動への参加	① 東温市地域包括支援センターや主任ケアマネの会と協働して災害時に備えたマネジメントを行い、勉強会やシミュレーションを通じて防災への意識を高める。 ② 地域支援活動の推進において情報を発信し、介護予防、地域を支える互助の大切さを伝える。 ③ 男性介護者の会を継続実施し、趣味活動や家族同士の交流を図る。

6.-3 その他の状況

内容	件数	備考
苦情解決件数	0	
事故報告件数	0	

《総評》

昨年同様、感染症予防対策のため地域活動や会議、研修などの機会が減少しているが、徐々にオンライン以外でも参加型研修が増加。新規相談や面談なども制限することなく積極的に困難事例や看取り支援も受け入れできた。介護支援専門員も4名体制となり、研修期間ではあるが技能を判断しつつ受け入れ件数を増加させたい。新規相談は年間 73 件で、前年とより大幅に増加しているものの、施設入所など終了者も多かったことにより月間の登録者へ例年並みとなっている。

7.VI. 在宅介護支援センター(委託事業)

7.-1 活動実績報告

【相談件数及び内訳】

	内 訳	件 数	合 計
区分	新規	20	331
	継続	311	
相談区分	家族	27	356
	本人	265	
	関係機関	58	
	その他	6	

【相談内容及び対応】(重複あり)

相談内容	件 数
疾病・健康	306
介護	22
在宅・福祉サービス利用	113
入所・入院	8
経済的	5
苦情	0

世帯	独居	256	330
	高齢者のみ	56	
	その他	18	
相談方法	電話	54	332
	来所	10	
	訪問(電話受付)	248	
	その他	20	

その他	2
-----	---

対 応	件数
助言・指導	323
他機関連絡	48
申請代行	3
電話・訪問等での安否確認	22
ケアマネ後方支援	0

7-2 ふれあい・いきいきサロン参加事業

日 時	サロン等	場 所	人数	内 容
7 月 7 日	にこにこサロン	町西公民館	6 人	バルーンアート 東温市認知症カルタ
合 計			6 名	

7-3 地域関連事業

	事 業 名	内 容	主 催 者
地 域 関 連 事 業	介護ネット東温	搜索訓練 メールでの連絡訓練	介護ネット東温
	東温市健康相談	診察相談 東温市地域包括支援センター出張窓口 介護相談及び広報支援	東温市健康推進課
	東温市行方不明声掛け訓練 (中止)	認知症の方への声掛け	東温市地域包括支援センター
	生活支援体制整備事業	第1層・第2層協議体 「助け合い・支えあいどうおん」 地域課題の表出 月1回実施 サロン活動のインタビュー	生活支援コーディネーター

《総評》

地域支援活動については、実態把握や診察相談にて、地域の実情を把握することができた。

令和3年度も感染症対策の為サロン活動やふれあい給食の休止が続き、人的交流の減少からくる孤独感、外出への不安感からくる活動量の低下、自身の認知症予防へ心配などの声が多かった。

生活支援体制整備事業では、地域協働センター中予副センター長 前田先生からのアドバイスをいただきながら、住民参画の実情を踏まえた上で地域課題の表出、情報交換を行っている。また、防災無線の難聴区域がある事から防災カードの作成を行った。

8.各部門報告(委員会活動を含む)

8-1 防災・防犯活動

訓練項目	開催日時	参加者	内容
避難訓練 (ガリラヤ荘)	R3年6月18日(金) 13:30-14:30	利用者 110 名 職員 30 名	消防署員監修の上通報訓練及び全体での避難訓練実施。消火栓を使用した模擬消火訓練。
消防訓練(東温市防災センター)	**	**	<u>新型コロナ感染症対策により中止</u>
夜間想定通報訓練 (ガリラヤ荘)	R3 年 12 月 14 日 (火) 19:00~20:00	職員 70 名	夜間緊急時連絡表での非常招集訓練。
シェイクアウトえひめ (ガリラヤ荘)	R3 年 12 月 17 日 (木) 11:00-11:15	利用者 110 名 職員 30 名	愛媛県全体での地震を想定した安全行動をとる訓練を実施。模擬消火訓練実施。
防犯訓練	**	**	<u>新型コロナ感染症対策により中止</u>

8-2 感染症対策

① 衛生管理委員会の開催

令和 3 年度も新型コロナウイルスまん延に伴い、毎月の運営会及び必要時には臨時開催して、対応策の変更や周知徹底を図った。

② 新型コロナウイルス感染症報告

職員やその家族が濃厚接触者になる事例は多数あり、その都度適切な感染対策を行う事で感染者を出すことはなかった。令和 4 年 2 月に短期入所の利用者が利用初日夕方に濃厚接触者と判明し、急遽ユニットをレッドゾーンとした隔離対応を実施した。利用開始5日目で陽性となり受診、確定診断され退所となった。利用中は全利用者を居室隔離とし、当該利用者の居室に入る際は防護服を着用し徹底的に感染予防対策をしたため、感染拡大することはなかった。保健所からの指導もなかった。

③ インフルエンザウイルス及びノロウイルス等感染症報告

令和 3 年度も新型コロナウイルス感染症対策を徹底的に行ったため、入居者・職員ともに感染者を出すことはなかった。今後も様々な感染症の動向を注意深く観察しながら、引き続き感染対策を徹底していく。

③ その他

毎日の朝礼や委員会後の配布資料で情報提供を行い、定期的に職員個人の感染予防チェックリストを実施することで意識づけを行う事で、職員が日常的に感染症予防を行う理由を理解したうえで実施できている。

8-3 褥瘡対策

① 褥瘡対策委員会の開催(毎月)

新型コロナウイルス感染症の影響で書面開催。例年通りきめ細やかな観察・対策を行い、褥瘡予防に取り組んだ。令和 3 年度も皮膚科 Dr を含む栄養士や機能訓練指導員など、多職種で今まで以上に褥瘡予防に取り組んでいく。

8-4 権利擁護・苦情解決

① 権利擁護苦情相談委員会の開催(随時)

令和 3 年度苦情件数 0 件

8-5 身体拘束・高齢者虐待対策

① 身体拘束廃止・高齢者虐待防止委員会の開催(毎月)

身体拘束件数 0件 高齢者虐待件数 0件

施設指針の周知、コロナウイルス感染予防のため、書面にて毎月不適切ケア等の事例検討を行い、虐待等に繋がらない環境づくりや意識付けをすることができた。総合委員会により、毎月の活動報告を行った。今年度は介護相談員訪問受入れを再開し、利用者の気持ちなど聞き取りしていただき、詳細事項は書面において回覧し周知することができた。安全面での環境づくりをする際や、困難事例の際は安全を保ちつつ、拘束廃止、虐待防止の観点から、利用者様一人一人を尊重した、支援を行った。

8-6 栄養対策

① 給食委員会の開催(毎月)

栄養ケアマネジメントを実施。利用者の摂食状況や提供方法、献立等について施設長、各事業所職員、多職種、委託業者と検討。「人として最期まで口から食べる」ことに重きをおき、ソフト食・やわらか食を提供。また、便秘対策のため食物繊維の多い食事の提供を継続実施。一人ひとりの身体状態や嗜好を考慮した個別対応を行い、季節感のある食材や行事食を取り入れ、食事イベントを行い、利用者により一層満足していただける食事提供に努めていきたい。

8-7 事故対策

① 安全委員会の開催(毎月)

毎月の状況報告及びヒヤリハット報告を確認し再発防止の注意喚起につながるよう各担当係とユニットリーダーが検討し総合委員会内においても活動を報告することができた。今後は発生数の多い事例について、特に重大アクシデントに発展しないよう日頃より注意喚起できる活動につとめていきたい。

② 事故状況・ヒヤリハット報告

I 月別発生件数(特養/短期入所別)

月	特養		短期		計	
	状況報告	ヒヤリハット	状況報告	ヒヤリハット	状況報告	ヒヤリハット
4月	12	31	4	12	16	43
5月	26	27	2	7	28	34
6月	22	25	4	2	26	27
7月	30	53	1	6	31	59
8月	24	70	3	5	27	75
9月	17	76	5	6	22	82
10月	18	56	6	4	24	60
11月	15	58	5	5	20	63
12月	13	46	2	2	15	48
1月	15	44	4	3	19	47
2月	7	28	4	3	11	31
3月	20	39	1	5	22	44
総計	219	553	41	60	261	613

II 内容別発生件数

状況報告	計	ヒヤリハット	計
転倒※1)	65	内出血※7)	477
傷※2)	50	傷※8)	61
転落※3)	42	他※6	22
服薬ミス(落薬)※4)	38	転倒未遂	18
内出血	33	転落未遂	14
異食※5)	10	服薬ミス未遂	7
服薬ミス	6	誤薬未遂	4
他※6)	5	服薬ミス未遂(落薬)	3
食事提供ミス	3	這い移動	1
服薬ミス(貼り忘れ)	3	食事提供ミス未遂	1
誤薬	2	在宅酸素ミス未遂	1
対人トラブル	2	対人トラブル未遂	1
在宅酸素ミス	1	総計	613
誤嚥	1		
総計	261		

※1) 立上りや歩行での転倒

※2) 軽度の発赤・腫脹、その他傷全般を含む(看護師による処置実施)

※3) 車椅子、椅子、ベッドなどからのしりもち、座り込みを含む

※4) 服薬自立、吐出しなど服薬後の発見

※5) 誤飲以外の発見を含む

※6) 原因が特定されない軽症や事故危険があったものを含む

※7.8) 軽度の発赤・腫脹・、その他傷全般を含む(看護師による処置不要)

III 報告レベルの内訳

※ヒヤリハットを含む、すべての状況報告

0	ヒヤリハット報告	612
I	未遂以外(怪我なし) または看護師による処置、バイタル異常	253
II	病院受診(異常なし)	2
III	病院受診(怪我ありまたは再受診必要)	3
IV	病院受診(入院加療必要)	3
V	後遺症が残るあるいは死亡	0
他	精神的苦痛・機械・物品破損等	1
総計		874

IV受診及び行政事故報告提出の内訳

事業所	内容	受診	市報告	
特養	転倒	5/1	5/6	右頬裂傷。歩行独歩にてどこで転倒したかは不明。
特養	転倒	7/7	7/9	異常なし。居室にて歩行独歩により転倒。
短期	転倒	8/26	8/30	左恥骨骨折。肺炎。居室トイレにて転倒。肺炎治療にて入院。
特養	転倒	10/31	11/2	異常なし。廊下にて歩行歩行器により転倒。
特養	他	12/8	12/9	左上腕骨近位端骨折。体位交換時痛みあり受診し判明。
特養	他	12/10	12/14	右大腿骨遠位端骨折。ベッド臥床対応時痛みあり受診し判明。
短期	転倒	2/23	2/28	左骨盤骨折。居室トイレにて転倒。入院。
特養	他	3/23	3/27	左大腿骨近位端骨折。発熱による受診準備中、内出血あり、併せて検査を行い判明。発熱原因検査にて入院。

(考察)

事故発生件数については、アクシデントにつながる可能性のあるヒヤリハットと、状況から軽微なものを含め事故として取り扱うものを整理し、分析方法の見直しを図った。全体数としてヒヤリハット(日々の気づき)が上がることで大幅に増加しているが、重大アクシデントを防ぐ材料として今後も継続する。

今年度においては、服薬ミスと誤薬ミス(ともに未遂を含める)を精査し、スタッフによるミスは明らかに減少し、未然に防ぐことができていたが、入所者・利用者の吐出しや、自立服用者の未服用(落薬など)が状況として多いことが判明したため、注意喚起していきたい。また、転倒による骨折事故及び、直接介護中の骨折事故が増えた。速やかに原因を検証し、重度化する入所者・利用者の直接介護における手技についてあらためて再確認していきたい。

9.行事・施設内研修・実習等受入の状況

	全体行事等	施設内研修	実習等受入
4	入職式 【中止】永眠者記念会	新人職員研修 トータルケアリーダー研修【WEB】	
5	【中止】花の日訪問 【中止】全館ワックスがけ 感染症対策訓練(新型コロナウイルス)		
6	防災総合訓練(南方東自主防災会合同は中止)	感染症対策Ⅱ食中毒【書面開催】 トータルケア認知症①研修【WEB】	東温高等学校(WEB)2名 6/8
7	【中止】消防訓練(東温市防災センター) 【中止】夏休み1日体験事前体験	リスクマネジメントⅠ【書面開催】	河原医療福祉専門学校(特養)1名 7/12-8/6 東温高等学校(特養)1名 7/21-22 河原医療大学校(特養)8名 7/26-8/6 愛媛大学医学部看護科(体験)3名 7/16-7/21 愛媛大学医学部看護科(体験)2名 7/27-7/30
8	【中止】里帰り推進 入居者レントゲン健診 居室等カーテンクリーニング実施	身体拘束虐待防止Ⅰ【書面開催】	松山学院高等学校(通所)3名 8/2-8/13 松山学院高等学校(特養)1名 8/11-8/25 愛媛県立医療技術大学(体験)19名 8/10
9	【中止】東温市長一日施設長就任・赤ちゃんこ贈呈式 【中止】全館ワックスがけ 【中止】防犯訓練	トータルケア認知症②研修【WEB】 トータルケア排泄研修【WEB】 看取りⅠ【書面開催】	愛媛大学医学部看護科(特養)4名 9/28-9/30 河原医療福祉専門学校(特養)3名 9/6-10/8
10	【中止】運動会 【中止】秋祭(松瀬川獅子舞保存会施設訪問)(森地区神輿・奉納踊り)	感染症対策Ⅲ感染症全般 新人職員フォローアップ研修(法令遵守/守秘義務)	松山学院高等学校(特養短期)4名① 10/11-10/15②10/25-11/15 河原医療福祉専門学校(訪問)2名① 10/20-10/22②10/27-10/29 愛媛大学医学部看護科(特養)5名 10/26-10/29
11	【中止】ガリヤヤ荘感謝祭 2021 【中止】収穫祭り訪問(松山東雲短期大学付属幼稚園) 感染症対策訓練(新型コロナウイルス)		松山学院高等学校(通所)3名 11/8-11/19 河原医療福祉専門学校(特養)2名 11/8-11/26 愛媛大学医学部看護科(特養)5名 11/24-11/26
12	東温市社協共同募金歳末施設訪問 東温市婦人会歳末訪問		

	防災訓練(水害・避難・夜間想定) 防災訓練(シェイクアウトえひめ) クリスマスツリー・クリスマスイルミネーション設営		
1		リスクマネジメントⅡ	
2		身体拘束虐待防止Ⅱ	河原医療福祉専門学校(特養)1名 2/7-2/25
3	【中止】家族会総会	看取りⅡ【書面開催】	聖カタリナ大学(特養)2名 3/7-3/18
他	通年		委員会等活動
	毎月・誕生昼食会 おやつ、お茶の時間(毎日) 訪問理容(ブルーライン・たかの子理容) 東温市移動図書館「かぼちゃん号」 嘱託医 4 名(中川 Dr 内科、八木 Dr 皮膚科、吉田 Dr 精神科、河野 Dr 歯科) 訪問販売(セブンスターとくし丸)		運営会議/部長課長会議 ・災害対策推進委員会(BCP) ・感染症対策推進委員会(BCP) ・安全対策推進委員会 ・5S 改善推進委員会 総合委員会 ・安全(事故発生防止)委員会 ・衛生管理委員会(新型コロナ対策会議含) ・身体拘束廃止高齢者虐待防止委員会 ・給食委員会 権利擁護・苦情相談委員会 在宅委員会 入所判定委員会 居宅会議(週例会) デイサービス会議 ヘルパー会議(訪問介護) 特養会議(リーダー会)/ユニット会
	クラブ活動・ボランティア等		
	[クラブ活動] 陶芸(隔週水曜日) 習字(月 1 回・第2水) 俳句会(第4水曜日)【書面】 音楽/風船バレー(各ユニット月 1 回) 縫布クラブ(第1火曜)【中止】	縫布ボラ(第 1 火曜日)【中止】 喫茶ヘリーヘリー(特養・デイ隔月)【中止】 紙芝居ボランティア(月1回デイ・月1回特養・SS不定)2月～休止 介護相談員(基本:第1火曜日) 傾聴ボランティア”笑顔に会いたい”(第4金曜日)【中止】 トーンチャイムレインボー(季節毎・第2金曜日)【中止】 オカリーナそよ風(季節毎・第3火曜日)【中止】(	

※)新型コロナウイルス感染症対策に伴い、書面開催または延期・中止あり

10.施設外研修の状況

【施設外研修】

研修項目	延数	全体		特養/SS		デイサービス		訪問介護	
		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
介護		3	30	1	13			2	3
看護・保健・医療		3	8	1	1			1	1
防災・防犯		2	2	1	1				
人材育成・マネジメント		2	4	1	1				
専門(スキル向上・資格等)				9	12	2	4		
行政(介護保険・制度他)		1	2			2	2		
財務会計									
人事・労務管理									
他		3	3	1	3	1	1		
小計		14	49	14	31	5	7	3	4

研修項目	居宅介護支援		合計	
	件数	人数	件数計	人数計
介護			6	46
看護・保健・医療	4	10	9	20
防災・防犯			3	3
人材育成・マネジメント			3	5
専門(スキル向上・資格等)	1	1	12	17
行政(介護保険・制度他)	1	1	4	5
財務会計				
人事・労務管理				
他	1	1	6	8
小計	7	13	43	104

※)新型コロナウイルス感染症対策に伴い、オンライン及び書面開催を含む

11.職員の状況

部門 等	前年度末	令和3年度当初				令和3年度中の状況			令和3年度末	常勤換算 (年度末 雇用契約)
		退職 (3.3.31 付)	入職 (3.4.1付)	異動 (3.4.1付)	職員計	入職	異動	退職		
特養/短期	88	-4	4	0	88	2	1	-4	87	60.2
(介護職)	64	-3	4	0	65	1	1	-3	64	41.5
(看護職)	9	-1	0	0	8	1	0	-1	8	6.3
(その他)	16	0	0	0	16	0	0	0	16	12.4
デイサービス	16	0	0	0	16	1	0	-1	16	12.6
訪問介護	10	0	0	0	10	1	0	-2	9	3.8
居宅	4	0	0	0	4	1	0	0	5	3.2
計	117	-4	4	0	118	5	1	-7	117	79.8

※)医師等嘱託契約者の数は上記に含めず

【医師 4 名、歯科衛生士 1 名、理学療法士 1 名(特養)、作業療法士 2 名(デイ)】

12.サービス別 利用状況一覧

特別養護老人ホーム「介護老人福祉施設」定員 80 名・8 ユニット(1 ユニット定員 10 名)

項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均
稼働日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
要介護	1	32	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	336
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	508	527	510	508	521	481	553	526	525	499	476	510	5,634
	4	1,132	1,168	1,169	1,209	1,215	1,144	1,193	1,222	1,285	1,249	1,128	1,223	13,114
	5	668	610	616	617	596	596	622	594	571	571	578	644	6,639
総計	平均介護度	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.00
	延べ利用人数	2,340	2,336	2,325	2,365	2,363	2,251	2,399	2,372	2,412	2,350	2,210	2,408	25,723
	平均利用人数/1日	78.0	75.4	77.5	76.3	76.2	75.0	77.4	79.1	77.8	75.8	78.9	77.7	77.0
	稼働率	97.5%	94.2%	96.9%	95.4%	95.3%	93.8%	96.7%	98.8%	97.3%	94.8%	98.7%	97.1%	96.3%

ショートステイ「(介護予防)短期入所生活介護」定員 20 名・2 ユニット(1 ユニット定員 10 名)

項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均
稼働日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
要介護	利用実人数	26	27	27	28	27	25	29	33	34	35	28	30	29.0
	1	44	35	23	18	18	18	26	35	24	35	30	15	306
	2	44	48	50	56	78	69	85	95	100	129	82	111	836
	3	286	224	226	292	302	262	252	200	189	171	159	151	2,563
	4	43	103	122	118	67	92	80	121	87	99	156	228	1,088
	5	7	34	60	62	54	22	39	60	104	78	42	31	562
	利用延べ人数計	424	444	481	546	519	463	482	511	504	512	469	536	5,355
	平均介護度	2.82	3.12	3.30	3.27	3.12	3.07	3.04	3.15	3.29	3.11	3.21	3.28	3.14
	平均利用人数/1日	14.1	14.3	16.0	17.6	16.7	15.4	15.5	17.0	16.3	16.5	16.8	17.3	16.0
要支援	利用実人数	1	1	1	1	2	2	1	1	2	2	1	1	1.36
	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	4	6	4	8	6	11	4	4	9	8	3	4	67
	利用延べ人数	4	6	4	8	6	11	4	4	9	8	3	4	67
	平均利用人数/1日	0.13	0.19	0.13	0.26	0.19	0.37	0.13	0.13	0.29	0.26	0.11	0.13	0.20
総計	延べ利用人数	428	450	485	554	525	474	486	515	513	520	472	540	5,422
	平均利用人数/1日	14.3	14.5	16.2	17.9	16.9	15.8	15.7	17.2	16.5	16.8	16.9	17.4	16.2
	稼働率	71.3%	72.6%	80.8%	89.4%	84.7%	79.0%	78.4%	85.8%	82.7%	83.9%	84.3%	87.1%	81.2%

デイサービス「(介護予防)通所介護」 定員 35 名

項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均
稼働日数		26	26	26	27	26	26	26	26	26	25	24	27	311
要 介 護	利用実人数	58	61	59	56	55	55	60	55	56	53	51	52	56
	1	159	156	185	187	154	160	193	185	181	164	154	175	1,878
	2	263	272	276	283	277	259	266	254	265	245	209	251	2,869
	3	122	133	127	122	134	133	114	79	71	70	56	54	1,161
	4	18	27	29	29	21	22	31	22	19	20	18	29	256
	5	13	12	9	9	8	6	9	8	8	8	8	18	98
	利用延べ人数	575	600	626	630	594	580	613	548	544	507	445	527	6,262
	平均介護度	2.07	2.11	2.04	2.03	2.08	2.06	2.02	1.93	1.91	1.94	1.91	1.98	2.01
	平均利用人数/1日	22.1	23.1	24.1	23.3	22.8	22.3	23.6	21.1	20.9	20.3	18.5	19.5	22.0
要 支 援	利用実人数	13	14	18	18	19	18	20	19	17	17	19	17	17.5
	1	16	14	20	22	21	22	22	24	24	25	22	25	232
	2	72	67	98	114	101	102	110	98	94	81	85	91	1022
	利用延べ人数	88	81	118	136	122	124	132	122	118	106	107	116	1254
	平均利用人数/1日	3.4	3.1	4.5	5.0	4.7	4.8	5.1	4.7	4.5	4.2	4.5	4.3	4.41
総 計	利用延べ人数	663	681	744	766	716	704	745	670	662	613	552	643	7,516
	平均利用人数/1日	25.5	26.2	28.6	28.4	27.5	27.1	28.7	25.8	25.5	24.5	23.0	23.8	26.4
	稼働率	72.9%	74.8%	81.8%	81.1%	78.7%	77.4%	81.9%	73.6%	72.7%	70.1%	65.7%	68.0%	75.5%

ホームヘルプサービス「(介護予防)訪問介護」

[illegible]

居宅介護支援

項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均
介護支援専門員数		3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	3.4
要介護	1	31	31	31	31	31	30	30	31	32	30	33	31	341
	2	31	33	32	33	33	32	35	35	35	33	28	30	360
	3	29	28	29	30	31	28	27	25	20	20	17	14	284
	4	6	5	5	5	4	4	5	7	6	6	8	9	61
	5	2	2	2	1	1	2	2	2	3	3	2	3	22
	介護 利用人数	99	99	99	100	100	96	99	100	96	92	88	87	97.1
	介護 稼働率	70.7%	70.7%	70.7%	71.4%	71.4%	68.6%	70.7%	71.4%	68.6%	65.7%	62.9%	62.1%	69.4%
要支援	1	9	8	7	7	7	6	7	7	7	6	7	6	78
	2	9	9	10	11	11	12	13	14	13	14	13	11	129
	予防 利用人数	18	17	17	18	18	18	20	21	20	20	20	17	18.8
	予防 稼働率	56.3%	53.1%	53.1%	56.3%	56.3%	56.3%	62.5%	65.6%	62.5%	62.5%	62.5%	53.1%	58.8%
総計	介護+予防 利用人数	117	116	116	118	118	114	119	121	116	112	108	104	115.9
	介護+予防 稼働率	68.0%	67.4%	67.4%	68.6%	68.6%	66.3%	69.2%	70.3%	67.4%	65.1%	62.8%	60.5%	67.4%

2021 年度(令和 3 年度) ガリラヤ久米 事業報告

〔事業の種類〕

I. 小規模特別養護老人ホーム(地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)	定員 29 名
II. ショートステイ(〔介護予防〕短期入所生活介護)	定員 10 名
III. グループホーム(〔介護予防〕認知症対応型共同生活介護)	定員 18 名
IV. 介護付有料老人ホーム(〔介護予防〕特定施設入居者生活介護)	定員 35 名(30 室)
V. デイサービス(地域密着型通所介護)(介護予防通所サービス)	定員 18 名
VII. 居宅介護支援事業所(居宅介護支援)	

1.ガリラヤ久米(全体)

取組事項	取組内容
命と尊厳を守り安心して生活できる施設づくり	① 専門職として基礎介護力を高め、多職種連携による、重度化ケアに対応した生活支援の提供を行う。 ■ 内部研修(新任・現任研修、看取り介護研修 他)開催 ■ 運営会議の開催による情報の共有、多職種連携〔全 12 回 ※毎月〕 ■ 朝礼(全体)の開催〔月～金〕 ② 利用者の人権、プライバシーの保護と共に、虐待防止・身体拘束廃止を徹底する。(身体拘束 0 件目標) ■ 身体拘束・虐待防止委員会開催〔全 4 回〕 ■ 内部研修(拘束虐待防止)開催〔全 1 回※書面開催〕 ③ 新型コロナウイルス・インフルエンザ・ノロウイルス等の感染症防止に努める。(集団発生 0 件目標) ■ 衛生管理委員会開催〔全 4 回〕 ■ 内部研修(感染症)開催〔全 2 回〕 ■ 新型コロナウイルス感染対策会議の開催・職員への感染対策周知文書の配布
地域福祉の確立	① 地域共生センター「あいりん」の活動を中心に、地域の福祉拠点を目指し、関係機関との連携・地域の福祉ニーズを捉えた取り組みを実施する。 ■ 地域包括支援センターとの連携〔各種会議・研修参加〕 ■ サロン活動(ふらりカフェ)の実施に向けての検討・準備等 ② 地域行事活動、防災・防犯活動の協力等、学校、保育、他関係機関との連携を継続する。また、各養成校実習受入を開始し計画的に実施する。 ■ 河原医療大学校(看護臨地実習)※その他の実習はコロナウイルス感染予防のため中止 ■ 地域防災総合訓練「シェイクアウトえひめ」参加 ③ 在宅生活をトータル的にサポートするため、地域の実情に合わせた活動の実現に向けた情報収集、広報活動を行う。 ■ 地域の情報収集及び広報活動はコロナウイルス感染予防のために未実施 ■ 地域包括支援センターの部会参加により、地域福祉活動への協力を行った。
広報活動の充実	① ホームページ、SNSを活用し、施設の取組み・施設の様子など積極的な情報発信を行う。 ■ SNS(インスタグラム・Facebook)にて定期的な情報発信 ■ 施設広報誌は未発刊 ② イベントの企画・運営、ボランティア活動や関係機関の見学等の受入を継続する。また利用者家族・

	地域の方々が参加できる企画を検討する。 ■ コロナウイルス感染予防のためイベントの開催中止
やりがいを感じ働きやすい職場づくり	① キャリアパスに関する取り組みを強化し、職員一人一人が生きがいとやりがいをもって働き続けられる職場づくりを行う。 ■ 人事評価制度改訂し適正な評価による働きがいの確保に努めた。 ② 福祉の専門職として各事業所・部署間のチームワーク体制を維持し、運営に関する課題改善をより効果的に実践できる環境に努める。 ■ ③ スタッフが成長できる内部研修の実施、及び外部研修への参加支援を継続する。 ■ 内部研修の開催〔全 11 回 参加者計 484 名〕 ■ 外部研修への参加〔全 37 回 参加者計 45 名〕 ■ ストレスチェックの実施(8 月)NPO ころも塾との従業員支援事業委託の締結 ■ 人事考課・面談の実施(6 月 11 月)
安定運営の確保	① 事業運営に関わる財務・組織・管理における課題改善を適切に実践する。 ② 事業所の年間目標数値の達成とコスト(ムリ・ムラ・ムダのない)管理。 ③ 制度改正、社会状況に合わせた施設運営を見据え、ICT の活用、介護機器(ロボット等)の導入に関する具体的な計画を策定する。 ■ 運営会議での実績確認及び検討〔全 12 回〕 ■ 部課長会議〔全 31 回〕での検討 ■ デイサービス運営改善に向けた取組

2. I .小規模特別養護老人ホーム(地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

2.-1 入所者の状況(令和 3 年 3 月 31 日現在)

【入所・退所状況】

待機者数(令和 4 年 3 月末現在 26 名)

入 所			退 所		
男	女	計	男	女	計
3	7	10	3	6	9

【年齢構成】

	男	女	全体
入所者数	6	23	29
平均年齢	81.5	89.4	87.8
最高齢	61	104	-
最年少	55	71	-

【要介護度別人数】

要介護度	男	女	計
1	0	0	0
2	0	0	0

3	0	2	2
4	3	8	11
5	3	13	16
平均	4.5	4.5	4.5

2-2 医療の状況

【入院状況】

	実人数	延日数
4月	1	10
5月	2	40
6月	2	38
7月	0	0
8月	2	25
9月	1	26
10月	0	0

	実人数	延日数
11月	4	77
12月	2	41
1月	2	34
2月	0	0
3月	1	13
合計	17	304
月平均	1.4	25.3

【入院疾患別人数(延人数)】

疾患名	今年度	前年度
肺炎	4	7
心疾患	2	2
脳梗塞	1	1
尿路感染	2	1
腸閉塞	1	2
骨折	0	3
食欲不振	0	1
肝機能低下	0	0
腎機能低下	1	0
その他	6	2
合計	17	19

【医療管理状況】

医療行為	今年度	前年度
胃ろう	2	3
在宅酸素療法	0	0
人工肛門	0	0
尿道留置カテーテル	1	2
インシュリン注射	0	0
痰の吸引(常時)	0	0
合計	3	5

※緊急搬送回数 1回 (前年度 1回)

2-3 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容
トータルケアの実践 多職種協働システム	《全部門》 ■ 「総合記録シート」「介護日誌」「ユニット会議議題書」を活用したケアの実践。 ■ 多職種協同による「状態確認(ダブルチェック)」と「ケアの方法検討(カンファレンス)」の実践 ■ シフトマニュアル(オペレーションシート)の活用。平常時の統一した業務内容の明確化を図り、入所者及びユニットの状況変化に応じた体制づくり。 ■ ケアスタッフと看護師との連携による重度化対応。
イベント企画	《全部門》

	■ 感染予防対策を徹底した上でのイベント開催 ■ ブログ、Instagram等で施設活動や生活の様子を発信 ■ 感染状況に応じた面会の実施
環境整備	≪全部門≫ ■ 居室担当制・備品整備・環境美化推進 ■ 季節感を感じる飾りつけ等の環境づくり
研修運営	≪全部門≫ ■ 年間計画に基づく各種研修の開催(感染対策に配慮した研修) ■ 基礎介護勉強会の開催

2-4 運営推進会議の状況 ※)書面開催

開催日等	内容
第1回 令和3年4月～令和3年5月報告 意見照会 6名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等
第2回 令和3年6月～令和3年7月報告 意見照会 8名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等
第3回 令和3年8月～令和3年9月報告 意見照会 7名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等
第4回 令和3年10月～令和3年11月報告 意見照会 7名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等
第5回 令和3年12月～令和4年1月報告 意見照会 6名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等
第6回 令和4年2月～令和4年3月報告 意見照会 6名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等

≪総評≫

目標稼働率 96.6%に対し 96.6%。総延べ入院(外泊)日数 323 日 平均要介護度 4.4

基礎疾患があり、要介護度が重度な利用者が多く入所されている。そのため、入院をせず穏やかに施設で過ごすことができるよう丁寧なケアを実施することに努めた。結果、体調や要介護度の悪化を予防し、退所・入院者も減少した。

また、認知機能や身体機能の低下した方も楽しんでいただけるようなアクティビティ、行事を企画するとともにコロナ禍で心配されているご家族に向けて、ブログやInstagramなどの SNS を活用し、情報発信を行った。特にInstagramは様々な施設の日常、様子を伝えることができ、ご家族、関係機関からも好評であった。

感染症の関係では、日ごろの感染症予防対策や職員の行動制限等の成果もあり、新型コロナウイルス感染症の発生はなく、予防することができた。第 6 波の感染が拡大するにつれ、濃厚接触者や感染リスクのある状況も発生したが、速やかに居室対応や防護具対応などの感染予防対応を行うことで施設内感染を防ぐことができている。

今後も感染症予防の対応を着実に行いつつ、ご利用者の潤いのある暮らしの実現に尽力するとともにご家族、地域とのつながりを意識した取り組みを行っていきたい。

3.Ⅱ.ショートステイ（〔介護予防〕短期入所生活介護）

3-1 利用状況（令和4年3月31日現在）

【利用状況】

延べ人数	男	女	計
予防短期入所	48	20	68
短期入所	579	2525	3104
合計	627	2545	3172
平均利用者数	1.7	7.0	8.7

実人数	男	女	計
石井・浮穴・久谷	1	6	7
小野・久米	6	20	26
桑原・道後	0	1	1
生石・味生	0	1	1
味酒・清水	0	0	0
雄郡・新玉	0	1	1
垣生・余土	0	0	0
東・拓南	0	2	2
三津浜	0	2	2
内子	0	0	0
東温市	1	1	2
西条市	1	0	1
砥部町	1	0	1
合計	10	34	44

【要介護度別延べ人数】

要介護度	男	女	計
要支援1	48	20	68
要支援2	0	0	0
要介護1	226	725	951
2	42	667	709
3	190	450	640
4	100	651	751
5	21	32	53
平均	2.2	2.4	2.4

《総評》

目標稼働率 80.0%に対し 86.9%。一日の平均利用者 8.6 名

利用開始時のご利用者の健康状態に留意し、安全、安心してサービスをご利用いただけるよう感染症予防に努めた。感染症の発生なく事業を継続することができたが、当施設別事業所での感染症発生のため、一部利用を控えていただくケースもあった。

感染症の対応も兼ねて、積極的にご利用中の様子をインスタグラム、ブログ等を活用して発信した。ご家族、ケアマネジャー等にコロナ禍前には伝えきれなかったショートステイ中の生活や活動の様子を知ってもらうことができた。

4.Ⅲ.グループホーム（〔介護予防〕認知症対応型共同生活介護）

4-1 入居者の状況（令和 4 年 3 月 31 日現在）

【入居・退居状況】

待機者数（令和 4 年 3 月末現在 16 名）

入 所			退 所		
男	女	計	男	女	計
0	5	5	2	3	5

【年齢構成】

	男	女	全体
入居者数	2	16	18
平均年齢	82	90.9	89.9
最高齢	89	100	100
最年少	75	71	71

【要介護度別人数】

要介護度	男	女	計
1	0	1	1
2	0	5	5
3	1	6	7
4	0	3	3
5	1	1	2
平均	4	2.6	3.0

4-2 医療の状況

【入院状況】

	実人数	延日数		実人数	延日数
4 月	0	0	11 月	1	13
5 月	1	8	12 月	0	0
6 月	0	0	1 月	2	17
7 月	0	0	2 月	2	24
8 月	1	5	3 月	0	0
9 月	2	21	合計	11	130
10 月	2	42	月平均	0.9	10.8

【入院疾患別人数(延人数)】

疾患名	今年度	前年度
肺炎	2	2
心疾患	0	0
脳梗塞	0	0
腎機能低下	0	0
骨折	1	0
その他	3	7
合計	6	9

※緊急搬送回数 0回 (前年度 0回)

4-3 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容
トータルケアの実践 多職種協働システム	《全部門》 ■ 「総合記録シート」「介護日誌」「ユニット会議議題書」を活用したケアの実践。 ■ シフトマニュアル(オペレーションシート)の作成。平常時の統一した業務内容の明確化を図り、入所者及びユニットの状況変化に応じた体制づくり。 ■ ケアスタッフと看護師との連携による重度化対応。
イベント企画	《全部門》 ■ イベント開催 4月(花見散歩・おやつづくり) 5月(芋の苗植え、こいのぼりづくり)6月(お楽しみ会) 7月(フラワーアレンジメント)8月(夏祭り) 9月(敬老会・ドライブ) 10月(ドライブ・運動会) 11月(ドライブ・芋掘り・焼き芋作り) 12月(干し柿作り、忘年会、クリスマス会) 1月(初詣散歩、新年茶会) 2月(豆まき、バレンタイン) 3月(ひなまつり)
環境整備	《全部門》 ■ 居室担当制・備品整備・環境美化推進
研修運営	《全部門》 ■ 年間計画に基づく各種研修の開催 4月(新人研修)6月(食中毒、書面開催)7月(身体拘束・虐待防止、書面開催)10月(看取り、書面開催)11月(特浴リフト研修)1月(感染症予防、ビデオ)2月(リスクマネジメント、書面開催) ■ 基礎介護勉強会の開催 ■ 9月(中途者、食事ケア・排泄ケア・認知症ケア)

4-4 運営推進会議の状況 ※)書面開催

開催日等	内容
第1回 令和3年4月～令和3年5月報告 意見照会 6名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等
第2回 令和3年6月～令和3年7月報告 意見照会 8名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等

松前町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福津市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8	21	29	1	5	6	4	7	11

【年齢構成】

	男	女	全体
入所者数	8	21	29
平均年齢	91	90.6	90.7
最高齢	100	100	100
最年少	83	77	77

【要介護度別人数】

要介護度	男	女	計
自立	0	0	0
要支援 1	0	1	1
要支援 2	0	7	7
要介護 1	6	3	9
2	0	4	4
3	0	2	2
4	1	4	5
5	1	0	1
平均	1.87	1.72	1.76

5.-2 医療の状況

【入院状況】

	実人数	延日数
4 月	3	8
5 月	4	107
6 月	2	23
7 月	1	3
8 月	2	36
9 月	1	6
10 月	4	94

	実人数	延日数
11 月	4	46
12 月	3	42
1 月	4	108
2 月	8	95
3 月	8	101
合計	44	669
月平均	3.66	55.7

【入院疾患別人数(延人数)】

疾患名	今年度	前年度
肺炎	7	8
心疾患	5	3
尿路感染	0	2
骨折	4	2
貧血	1	0
脳出血	0	0
その他(癌含)	8	10
合計	25	25

【医療管理状況】

医療行為	今年度	前年度
胃ろう	0	0
在宅酸素療法	1	1
人工肛門	1	1
尿道留置カテーテル	1	1
インスリン注射	1	1
痰の吸引(常時)	0	0
合計	4	4

緊急搬送回数 3 回 (前年度 1 回)

5.-3 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容
トータルケアの実践 多職種協働システム	《全部門》 ■ 食事・排泄・口腔のケアに重点をおき、丁寧なケアに努め、誤嚥性肺炎、尿路感染症予防を行った。 ■ BPSD の悪化につながる、身体の問題を見極めながら根拠あるケアを実践した。
イベント企画	《全部門》 ■ イベント開催 4 月(お花見弁当) 5 月(ドライブ)(水餃子作り) 6 月(おやつ作り)(ドライブ) 7 月(ドライブ)(100 歳お祝会) 8 月(スイカ割り)(盆踊り大会) 9 月(敬老会)(100 歳お祝会) 10 月(ドライブ)(ミニ運動会)11 月(芋炊き)12 月(忘年会)(クリスマス会) 1 月(初詣)(新年会)2 月(節分:豆まき)(おやつ作り) 3 月(ひな祭り)(ドライブ) ■ 散歩(毎日)、誕生会・散歩表彰式(毎月)、カラオケ(毎月) ■ ボランティア受入(新型コロナ感染拡大予防のため中止)
環境整備	《全部門》 ■ 居室担当制・備品整備 ■ 大掃除(エアコン・窓)6・12 月 ■ 各箇所の消毒、換気
研修運営	《全部門》 ■ 年間計画に基づく各種研修の開催 4 月(新人研修)6 月(食中毒、書面開催)7 月(身体拘束・虐待防止、書面開催)10 月(看取り、書面開催)11 月(特浴リフト研修)1 月(感染症予防、ビデオ)2 月(リスクマネジメント、書面開催) ■ 基礎介護勉強会の開催 9 月(中途者、食事ケア・排泄ケア・認知症ケア)

《総評》

R3 目標稼働率 91%に対し実績 88.7% 総延入院日数 669 日(外泊は除く) 平均要介護度 1.76(R4.3.31)

入居者の高齢化及び重度化に伴い、看取りや重度の方の対応、介護度が軽度の方の精神面のフォローなど、職員はは多種多様な技術や知識、観察力、コミュニケーション能力を求められるような状況となっている。今後も健康管理と丁寧なケアを行い多職種が

連携することで、日々の変化を早期発見できるように努めていきたい。

新型コロナウイルスの影響もあり面会や外出行事の見合わせが続いているが、施設内でも生活の中に生きがいや季節を感じていただけるように行事等を企画し、入居者、ご家族にも安心していただけるような生活支援を今後も目指していきたい。

6. V. デイサービス(地域密着型通所介護)

VI. デイサービス(介護予防通所サービス)

6-1 利用者の状況(令和4年3月31日現在)

【利用状況】稼働日数 311日

延べ人数	男	女	計
地域密着通所	755	1962	2717
介護予防通所	91	969	1060
	846	2931	3777
平均利用者数	2.7	9.4	12.1

登録者人数	男	女	計
石井・久谷	1(1)	8(9)	9(10)
小野・久米	8(8)	26(29)	34(37)
桑原・道後	0	1(1)	1(1)
雄郡	0	1(1)	1(1)
東拓南	0	1(1)	1(1)
合計	9(9)	38(42)	47(51)

※)()…中止者を含む

【要介護度別延べ人数】

要介護度	男	女	計
事業対象	0	0	0
要支援1	91	439	530
要支援2	0	530	530
要介護1	129	1512	1636
2	302	274	580
3	208	73	285
4	116	103	219
5	0	0	0
平均	2.2	1.2	1.3

6-2 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容
個別ケアの実施	①生活機能や心身機能を把握し低下をもたらす環境や要因の特定及び環境分析を行いながら個別ケアを図る。 ■体力測定を実施し、結果の報告(家族及びケアマネジャー)

	■体力測定結果や起居動作の状況に合わせた、マシントレーニング等の見直し ■LIFE の導入 ②HOL (happiness of life) の提供を目指して、レクリエーション等アクティビティの充実を図る。 ■参加型レクリエーション ③7つの基本動作を踏まえた上でのマシントレーニング、レッドコードを含む個別機能訓練を充実させる。 ■利用者の状態・状況に合わせたマシントレーニング等のメニューの設定 ■トレーニング成果の報告(見える化)による継続の働きかけ
地域との交流	①地域と連携し、地域包括ケアの促進を目指す。 ■地域連絡会への参加 ②新型コロナウイルス感染予防を考慮しながら、できる範囲での行事・イベント活動を実施する。また、地域の高齢者に向けた情報発信を行う。 ■レクだよりでの情報発信。
職員研修	①デイサービスにおける専門業務(マシン・レッドコード技能、送迎業務など)について継続研修を行う。 ②施設内・外研修に参加し、基礎介護とサービスの質の向上を目指す。 ■市主催の説明会への参加 ■年間計画に基づく各種研修の開催
安定運営の確保	①長期入院や他サービスとの併用による利用率の状況を把握し、介護支援専門員と連携をとりながら調整を行う。 ②利用者の満足度高め、利用者の増加、利用回数の増加に繋げ、経営の安定を図る。 ③新規登録者の安定獲得を目指すため、定期的に情報を発信し営業に努める。

6.-3 運営推進会議の状況

開催日等	内容
第1回 令和3年4月～令和3年9月報告 意見照会 7名 第2回 令和3年10月～令和4年3月報告 意見照会 7名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等

6.-4 その他の状況

内容		備考
苦情解決件数	0件	
事故報告件数	4件	転倒 1件 介助ミス 2件 車両事故 1件 体調不良により緊急搬送 2件
ヒヤリハット件数	13件	異食未遂 1件 転倒未遂 2件 マシン設定ミス 5件 走行中に利用者がドアを開けようとした。 1件 レクでの想定ミス 1件 バイタル確認ミス 1件 補聴器の確認ミス 2件

《総評》

新規利用者獲得、また利用継続のため各事業所への定期的な情報発信、情報共有を積極的に行い、利用体験者及び新規利用者の獲得に取り組んだ。また、新規利用開始後は、利用者の運動機能を把握するために、体力測定を定期的の実施し、意欲向上につながる工夫や、継続してトレーニングできる環境づくりに努めた。

新型コロナウイルスの感染予防の為、レクリエーション実施内容に制限があるため、いかに利用者を楽しんで取り組んでいただけるように立案するか、レクリエーションの内容を随時検討しながら取り組んだ。また、利用者が新型コロナウイルスの感染予防のため、外出を含めデイサービスの利用を控えようとする利用者に対し、安心して利用していただけるよう、事業所内の感染対策について積極的に情報発信行なうなど、安心安全な環境の提供に取り組んだ。

今後も、利用者の楽しめるサービス、元気につながるサービスの提供に努め、住み慣れた地域で安心して生活を続けていけるようサービスを充実していきたい。

7. VII. 居宅介護支援事業所(居宅介護支援)

7-1 利用者の状況(令和4年3月31日現在)

【利用状況】 居宅サービス担当月間人数 予防 18 件 介護 45 件

利用者	予防		介護	
	男	女	男	女
小野・久米	6	5	5	19
石井・浮穴・久谷	0	1	1	1
桑原・道後	0	0	0	3
東・拓南	0	0	0	0
雄郡・新玉	0	1	0	0
味酒・清水	0	1	0	0
生石・味生	0	1	0	1
三津浜	0	0	0	1
垣生	0	0	0	1
東温市	0	2	1	6
伊予市	0	0	0	1
西条市	0	0	0	0
新居浜市	0	0	0	0
松前町	0	0	0	1
久万高原町	0	0	0	0
計	6	11	8	34
	17		42	

【要介護度別利用人数】

要介護度	男	女	計
要支援 1	3	8	11
要支援 2	3	3	6
要介護 1	3	15	18

2	4	8	12
3	1	4	5
4	0	5	5
5	0	2	2
計	14	45	59

7-2 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容の振り返り
在宅生活の維持	① コロナによる面会制限などで、施設入所を希望される方少なかったように思う。老人保健施設や病院からの退院なども動きが鈍麻であった。 ② 地域包括支援センター等が主催する勉強会等、コロナウイルス予防の影響で活動が少なかった。社会資源の理解が不十分でありプランへの反映ができていない。
資質向上	① 事業所内・外の研修に参加し、基礎介護やマネジメント等の在宅生活に必要な知識向上を目指すことができた。より文章能力や専門性、医療知識の理解など不十分な点を向上させたい。 ② 地域資源やサービス事業所の情報収集をもつとする必要がある。中立・公正な視点になった選択提起がよりできるよう視野を広げていきたい。 ③ 職員間のチェック機能が少なく、不備の指摘が十分でできなかった。
地域活動への参加	① コロナウイルス予防の観点から勉強会や研修会等の開催が少なかったが、リモート会議への参加や、ケア会議への事例提供など積極的に参加できた。 ② 地域サロンの活動の支援・交流など、コロナウイルス予防による停止が相次ぎ、屋外での民生委員との交流のみにとどまった。
安定運営の確保	① 病院への営業ができなかった。包括支援センター小野・久米と職員のトラブルにより、照会が減少または、指名での紹介があり、不均衡な状態となった。 ② 担当している方からの口コミ紹介など、少しずつガリラヤ久米の認知度が上がっていると感じる。 ③ 職員の急な退職により、書類チェックが必要な状態。法令遵守に基づき、整理していく。 ④ 利用者に迷惑をかけないケアの継続を行う。 ⑤ 健全な運営を行うために必要なことを考えていきたい。人材育成、共通認識をもったマネジメント方法

7-3 その他の状況

内容		備考
苦情解決件数	0 件	
事故報告件数	0 件	

《総評》

月の利用人数目標 70 名として取り組んだが、月平均 62 名の利用にとどまったが、前年度の月平均が 58 名であり、月 4 名の利用者増を図ることができた。要支援 1～要介護 2 が全体の 81% を占めており、中でも要介護 1 が全体の 30% となっている。前年に比べ、軽度者の割合は減少傾向となっている。

要介護利用者件数の伸び悩みに対して、まずは予防サービス利用者の人数増に取り組んだ。年度後半から、包括支援センターからの利用者紹介の減少傾向がみられ、また、介護支援専門員の入院や体調不良のために、思うように稼働率の向上につなげることができなかった。しかし、近隣の方から、担当の指名を頂くこともあり、少しずつではあるが事業所の存在が地域に浸透してきているとも

感じる。

今後も法令遵守、書類の確認等、事務作業の効率化を行うとともに、寄り添う支援を心がけ、専門性を高めたマネジメントを行っていききたい。また、地域に根差した居宅のありようを念頭に置き、安定した事業展開を行っていききたい。

8.各部門報告(委員会活動を含む)

8.-1 防災・防犯活動

訓練項目	開催日時	参加者	内容
消防訓練 (通報・初期消火・避難)	令和3年11月5日 14:00～14:45	140名	松山市南消防署東部支署職員及び ALSOK 警備員の派遣あり、全員参加にて 1F 南東リネン庫の火災を想定した消火・避難・通報訓練を行った。
総合訓練 (シェイクアウトえひめに参加) 地震・水害訓練	令和3年12月17日 11:00～11:30	140名	シェイクアウトえひめに参加、在館者が一斉に安全確保行動「まず低く、頭を守り、動かないを 1 分間」をとった。 豪雨で施設に床上浸水が発生したと想定し、避難誘導と物資の移動訓練を行った。
夜間通報訓練 夜間火災	令和3年12月17日 18:00～18:50	職員	夜間火災想定のお知らせ及び非常招集訓練を実施した。

8.-2 感染症対策

① 衛生管理委員会の開催(年4回)

② 職員研修の実施

○感染症について

実施月	内 容	参加者	研修内容	備 考
6 月	食中毒	58 名	食中毒の基礎知識・予防対策について	
10 月	感染症対策勉強会	24 名	感染症の基礎知識と対策※新型コロナウイルス感染症マニュアル使用、動画研修あり	

○メンタルヘルスについて

実施月	内 容	参加者	内 容	備 考
8 月	ストレスチェック	79 名	全職員に対してストレスチェックを実施	
10 月	新任職員面談	3 名	こころ塾による個別面談	

今年度も、新型コロナウイルス感染症の流行が続いており、感染の動向や対策については、朝礼、運営会議や衛生管理委員会、各事業所のユニット会にて情報共有・注意喚起を行うことができた。全職員を対象とした感染症勉強会については、動画等も活用し予定通り実施し、感染防止に努めることができた。

メンタルヘルスについて、職員対象のストレスチェックは例年通り実施できた。ストレスチェックの結果では、高ストレス者は昨年より 3 名増えており、昨年に引き続き、全体的にストレスの増加傾向がみられた。長引く新型コロナウイルス感染症対策により、プライベートにおいて長期間の自粛が続く、施設職員としての責任と役割は理解しているものの、感染対策の先行きが見えないことへの不安がストレスにつながっているようであった。本年度は感染拡大が続いたため、施設の感染予防対策により、外部講師の受入が困難な状況もあり、メンタルヘルス研修は実施できなかったが、メンタルヘルスについて対応が必要なケースについては、外部委託機関(こころ塾)を活用し、個別に面談の機会を設けるなどして対応を図った。

③ 感染症報告

<インフルエンザ>

11 月 9 日より利用者、11 月 24 日より施設職員に対するワクチン接種を実施。今年度もインフルエンザについては、コロナウイルス感染症対策により、全国的に罹患率は低く、施設内での感染は認めなかった。

	利用者					職員				
	GH	特養	SS	有料	他	GH	特養	SS	有料	他
A 型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B 型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※GH(グループホーム) SS(短期入所)

<新型コロナウイルス感染症>

利用者・職員共に、6 月 15 日より第 1 回目、7 月 6 日より 2 回目、令和 4 年 2 月 1 日より 3 回目のワクチン接種を実施した。3 月にグループホーム職員 1 名の感染を認め、3 月 7 日から 3 月 14 日までの期間、グループホームをレッドゾーン対応として隔離し感染対策を行った。その間 7 回の感染対策会議を開催し、対応策の検討などをすすめた。早期の対応・感染対策の徹底により、感染拡大は防ぐことができた。

<その他>

ノロウイルスなど、施設内での他の感染症の発症は認めなかった。

<まとめ>

昨年に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大が続き、当施設においても、国・県内の感染状況を確認しながら、対応を検討し感染対策を継続してきた。3 月に入り、県内の高齢者の 3 回目ワクチン接種割合が 8 割を超え、高齢者の感染者数及び入院患者数は大きく減少しており、社会は「ウイズコロナ」感染防止を図りながら経済を動かしていく方向へとシフト変更された。今後も感染回避行動を徹底しながら、感染対策研修を実施し、有事の際には早期に適切な感染予防対策が実施できる体制を維持しておくことが肝要である。また、各職員が日々のストレスと上手く向き合い、モチベーションを維持しながら、心身ともに健康に業務に携わることができるような職場環境となるよう努めていきたい。

8-3 褥瘡対策

① 褥瘡対策委員会の開催(毎月)

毎月入居者の褥瘡発生予備軍を抽出し対応を検討している。

表皮剥離などステージが軽い時期に早期の対応を行うことで、重症化することなく治癒できている。また、個人の肌質にあった保湿に努めながら、症状改善に至らない場合は皮膚科への相談、受診を行っている。

8-4 権利擁護・苦情解決

① 権利擁護苦情相談委員会の開催※令和 3 年度未開催

令和 2 年度苦情件数 0 件

※意見箱(玄関) 0 件

8-5 身体拘束・高齢者虐待対策

① 身体拘束廃止・高齢者虐待防止委員会の開催(年 4 回)

身体拘束件数 0 件 高齢者虐待件数 0 件

毎月チェックリストを用いて、日常のケアの中において、不適切ケアや行動を制限する目的で実施された行為がないかを確認した。また、事業所毎の会議にて、委員会の開催や年2回の研修(内1回は書面開催)にて、身体拘束適正化、高齢者虐待防止の意識づけを行った。施設全体での委員会は年4回開催(内1回は書面開催)し事例検討等行い情報共有を図った。

8-6 栄養対策

① 給食委員会の開催(書面開催)

残食調査を毎食実施し、残食の多い献立は提供頻度を減らすほか、食べやすいように調理法や味付けに工夫している。また、各事業所からの意見聴取、各要望にも可能な限り対応し、利用者により一層満足していただける食事提供に努めた。

8-7 事故対策

① 安全委員会の開催(年5回)

委員会内においてヒヤリハットや事故の事例検討を行いながら、ケア方法の見直しや環境整備に努めた。入所者(入居者)の状態・状況が事業所によって異なるため、半年ごとに発生した介護事故を集計し検討を行った。それぞれにおいて重点的に注意すべき事故の考察、対策を行うことで事故の発生予防を図った。誤薬の発生事例が発生したため、事故防止対応策の見直しを行い、合わせて誤薬に関する研修を行うなど再発防止に努めた。

また、ヒヤリハット報告件数が少なかったため、記録の記入促進を呼びかけ、報告件数の増加につながった。今後はヒヤリハット報告の活用のため、集計・分析に加え、ヒヤリハット報告様式の再検討、事例報告集の作成等を検討したい。

② 事故・ヒヤリハット報告

今年度について、それぞれの集計結果を報告する。

なお、事故報告は、ヒヤリハットを除く全ての事故報告を集計している。

I 月別発生件数(事業所別)

月	グループホーム	小規模特養	短期入所	介護付有料	計
4月	9	33	2	17	61
5月	11	30	1	14	56
6月	3	26	4	9	42
7月	6	21	3	15	45
8月	6	18	3	20	47
9月	10	27	3	18	58
10月	7	24	3	16	50
11月	12	15	5	16	48
12月	9	18	3	14	44
1月	7	21	6	15	49
2月	4	24	5	18	51
3月	9	14	1	10	34
総計	93	271	39	182	585

II 内容別発生件数

	件数
内出血	208
転倒※1)	118
服薬ミス	63
剥離	54
その他※3)	51
転落※2)	36
擦過傷	25
異食	11
裂傷	10
誤嚥	5
食事提供ミス	4
総計	585

※1) 立上りや歩行での転倒

※2) 車椅子、椅子、ベッドなどからのしりもち、座り込みを含む

※3) 原因が特定されない軽症や事故危険があったものを含む

III 報告レベルの内訳

I	未遂以外の事故(怪我なし) バイタル異常・看護師の処置	573
II	病院受診(異常なし)	3
III	病院受診(怪我あり)(再受診必要)	2
IV	病院受診(入院加療が必要)	7
V	後遺症が残るあるいは死亡	0
総計		585

「ヒヤリハット件数」

	件数
転倒(未遂)	116
転落(未遂)	47
服薬ミス(未遂)	28
食事提供ミス(未遂)	1
異食(未遂)	12
対人トラブル(未遂)	12
誤嚥(未遂)	4
設備・環境の不具合	6
他	139
総計	365

事業所別	転倒 (未遂)	転落 (未遂)	服薬 (未遂)	食事提供 ミス(未遂)	異食 (未遂)	対人トラブル (未遂)	誤嚥 (未遂)
小規模特養	20	21	7	1	3	1	0
ショートステイ	0	1	3	0	0	6	2
グループホーム	35	9	5	0	5	0	0
介護付有料	61	16	13	0	4	5	2
総計	116	47	28	1	12	12	4

事業所別	設備環境 の不具合	他	計
小規模特養	2	60	115
ショートステイ	0	44	56
グループホーム	0	5	59
介護付有料	4	30	135
総計	6	139	365

IV 受診及び市事故報告提出の内訳

事業所	発生日	内容	受診	市報告	受診結果	入院の有無
介護付有料	4月28日	転倒	4/29	5/1	左大腿骨頸部骨折	入院
介護付有料	4月30日	転倒	4/30	5/1 5/13	打撲、右下葉肺炎及び 右肺腫瘍の疑い	入院
介護付有料	9月23日	転倒	9/23、9/24	9/27	左大腿部頸部骨折	入院
GH	9月2日	転倒	9/6	9/6	胸椎圧迫骨折	
GH	9月23日	転倒	9/24	9/26	左大腿部大転子部骨折	入院
短期入所	9月24日	転倒	9/24	9/24	右大腿部頸部骨折	入院
介護付有料	10月10日	転倒	10/10	10/11	後頭部2cm程裂傷	入院
特養	10月28日	転倒	10/28	11/2	左後頭部打撲・擦過傷	
GH	12月15日	転倒	12/16	12/15	臀部打撲	
介護付有料	12月15日	転倒	12/15	12/16・25	右大腿骨頸部骨折	入院
介護付有料	1月11日	転倒	1/11	1/13	鼻、左頬骨骨折	入院
短期入所	3月3日	転倒	3/3	3/4	異常なし	

※) 管轄の松山市については、介護事故報告は受診したものの全てについて提出指示

※) 事業所判断で、受診はしていないが、報告した内容を含む(原因不明による怪我、服薬ミスなど)はあく

	受診件数	市報告件数
グループホーム		
小規模特養	1	1
ショートステイ	2	2
介護付有料	7	7
総計	14	14

(考察)

ヒヤリハットの件数が昨年度よりも大幅に増加している。転倒から骨折・入院につながるケースも多く、今後の課題と考える。

事故防止委員会の活動が、コロナウイルス感染症の影響で実施できておらず、事故及びヒヤリハットの分析や対策について話し合う機会がとれていないので、次年度は重大事故につながるケースの再確認の徹底に努めていきたい。

9.行事・施設内研修・実習等受入の状況

	全体行事等	各事業所行事	実習等受入
4	入職式 建物1年点検	[特]お花見昼食会/花見散歩 [GH]花見散歩 [有]お花見弁当	
5	町内清掃(久米地区) 運営推進会議	[特]若葉昼食会/おやつ作り(フレンチトースト・東京ケーキ) [GH]芋の苗植え [有]ドライブ、水餃子作り	
6	職員会 人事考課(夏期) 新型コロナワクチン集団接種(1回目)	[特]日本文化とふれあう(映画鑑賞)/ 風船バレー大会 [有]おやつ作り、ドライブ	
7	運営推進会議 防災勉強会 新型コロナワクチン集団接種(2回目)	[特]七夕飾り作り/スポーツ大会(風船バレー) [有]ドライブ、100歳お祝会	
8		[特]夏祭り/すいか割り [GH]夏まつり [有]スイカ割り、盆踊り大会	
9	職員会 運営推進会議 消防訓練 入居者レントゲン検査	[特]芋炊き/敬老会/おはぎ作り [GH]敬老会 [GH]外部評価 [有]敬老会、100歳お祝会	医療技術大学実習(看護学科)
10		[特]ミニ運動会/お月見団子作り/コスモドライブ [GH]]運動会 [有]ドライブ、ミニ運動会	
11		[特]クリスマス飾り作り/紅葉を見に行こうドライブ/ガリ久米エステ [有]芋炊き [GH]やきいも作り	
12	職員会 人事考課(冬期) 餅つき 防災訓練(シェイクアウトえひめ) 夜間緊急時通報訓練	[特]忘年会/クリスマス会/お楽しみ会 [GH]干し柿作り [GH]忘年会/クリスマス会 [有]忘年会、クリスマス会	

	介護情報サービス公表調査 運営推進会議		
1		〔特〕新年会/お正月各種行事/龍神社 初詣 〔GH〕初詣散歩/新年会 〔有〕初詣(龍神社)、新年会	
2	新型コロナワクチン集団接種(3回目)	〔特〕豆まき/手作り喫茶(ババロア風チ ョコムース) 〔GH〕節分豆まき/バレンタインチョコタ ワー 〔有〕節分豆まき、おやつ作り	
3		〔特〕ひなまつり会/風船バレー大会/梅 ゼリー作り 〔GH〕ひなまつり/おはぎ作り 〔有〕ひな祭り、ドライブ	
他	通年		委員会活動
	各事業所での誕生日会(昼食会) 各事業所でのイベント食(昼食会) おやつ・お茶の時間 レクリエーション(散歩・体操・音楽・風船バレーなど) 訪問理美容(3か所) 訪問マッサージ(随時) 訪問歯科診療(随時) 医師の回診 嘱託医2名 訪問販売(とくし丸、パン)		運営委員会 安全(事故防止)委員会 衛生管理委員会 身体拘束廃止委員会 高齢者虐待防止委員会 給食委員会 権利擁護・苦情相談委員会 入所判定委員会 各事業所スタッフ会議
	ボランティア等		
	〔個人:定期〕 新型コロナウイルス感染予防 の為に中止	〔団体:定期〕 新型コロナウイルス感染予防 の為に中止	〔個人:随時〕 新型コロナウイルス感染予防 の為に中止
			〔団体:随時〕 新型コロナウイルス感染予防 の為に中止

10.施設内、施設外研修の状況

【施設内研修】

	研修名	参加人数
4	新任/現任者研修(身体拘束虐待防止・リスクマネジメント・感染・苦情・基礎介護等)	3名
5	第1回身体拘束虐待防止研修	36名
6	衛生管理:食中毒	58名
8	第1回リスクマネジメント研修	30名
9	看取り介護研修 バーセルインデックス勉強会	19名 13名

	研修名	参加人数
10	感染症研修	24名
11	消防訓練(消火・通報・避難)	140名
12	法令順守・守秘義務研修 消防訓練(消火・通報・避難・地震・水害)	21名 140名
1	第1回身体拘束虐待防止研修	書面開催
3	第2回リスクマネジメント研修	書面開催

※未参加の職員は書面開催

【施設外研修】

	全体		GH		小規模特養/SS		介護付有料	
研修項目	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
介護								
看護・保健・医療								
防災・防犯	1	1					1	1
人材育成・マネジメント	1	1	2	2	2	7	2	4
専門(スキル向上・資格等)	3	3	2	2	5	5	1	2
行政(介護保険・制度他)								
財務会計	3	3						
人事・労務管理	1	1						
小 計	9	9	4	4	7	12	4	7

	デイサービス		居宅介護支援		合 計	
研修項目	件数	人数	件数	人数	件数計	人数計
介護						
看護・保健・医療						
防災・防犯			1	1	3	3
人材育成・マネジメント	2	2			9	16
専門(スキル向上・資格等)	1	1	9	9	21	22
行政(介護保険・制度他)						
財務会計					3	3
人事・労務管理					1	1
小 計	3	3	10	10	37	45

11.職員の状況

部門等	前年度末	令和3年度当初				令和3年度中の状況			令和3年度末	常勤換算
		退職 (3,31付)	入職 (4,1付)	異動 (4,1付)	職員計	入職	異動	退職		
グループホーム	15	0	1	0	16	0	0	0	16	13.7
特養/短期	41	1 (1)	0	2/-2	40	1	1/-1	5	36	31
(介護職)	26(3)	1 (1)	0	2/-2	25 (2)	1	-1	4 (2)	21	20.4
(看護職)	4	0	0	0	4	0	0	0	4	3.4
(その他)	11	0	0	0	11	0	1	1	11	7.2
介護付有料	20	0	1	2/-2	21	4	0	3	22	16.3
(介護職)	15	0	1	2/-2	16	3	0	3	16	12
(看護職)	2	0	0	0	2	0	0	0	2	2
(その他)	3	0	0	0	3	1	0	0	4	2.3
デイサービス	8	0	0	0	8	1	0	1	8	6.2
居 宅	2	0	0	0	2	0	0	0	2	2
計	86	1 (1)	2	0	87 (2)	6	0	9 (2)	84	69.2

※()は派遣職員

医師等嘱託契約者の数は含めず【医師 2 名、歯科衛生士 1 名、作業療法士 2 名(デイ/特養/介護付有料)】

育児休業者 1 名(有料相談員)は常勤換算に含めず

12.サービス別 利用状況一覧

小規模特別養護老人ホーム			定員29名・3ユニット（ユニット定員10名（1ユニットのみ9名））											
項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均
稼働日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
総計	平均介護度	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	4.42
	延べ利用人数	825	867	822	899	896	850	880	817	824	857	798	892	10,227
	平均利用人数/1日	27.50	27.97	27.40	29.00	28.90	28.33	28.39	27.23	26.58	27.65	28.50	28.77	28.02
	稼働率	94.8%	96.4%	94.5%	100.0%	99.7%	97.7%	97.9%	93.9%	91.7%	95.3%	98.3%	99.2%	96.6%

ショートステイ			定員10名・1ユニット（ユニット定員10名）											
項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均
稼働日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
要介護	利用実人数	20	19	20	23	23	18	21	23	22	23	20	20	21.0
	利用延べ人数計	228	224	247	260	284	254	277	280	274	246	258	272	3,104
	平均介護度	1.90	2.30	2.50	2.30	2.20	2.20	2.50	2.50	2.60	2.60	2.80	2.80	2.43
	平均利用人数/1日	7.60	7.23	8.23	8.39	9.16	8.47	8.94	9.33	8.84	7.94	9.21	8.77	8.50
要支援	利用実人数	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1.09
	利用延べ人数	4	4	22	4	4	4	4	4	4	4	4	6	68
	平均介護度	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.40
	平均利用人数/1日	0.13	0.13	0.73	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.14	0.19	0.19
総計	平均介護度	1.80	2.30	2.30	2.30	2.10	2.20	2.50	2.50	2.50	2.60	2.70	2.80	2.38
	延べ利用人数	232	228	269	264	288	258	281	284	278	250	262	278	3,172
	平均利用人数/1日	7.73	7.35	8.97	8.52	9.29	8.60	9.06	9.47	8.97	8.06	9.36	8.97	8.69
	稼働率	77.3%	73.5%	89.7%	85.2%	92.9%	86.0%	90.6%	94.7%	89.7%	80.6%	93.6%	89.7%	86.9%

グループホーム			定員18名・2ユニット（ユニット定員9名）														
項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均			
稼働日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365			
総計	平均介護度	2.80	2.70	2.80	2.80	2.80	2.60	2.70	2.80	2.90	2.90	2.80	2.80	2.78			
	延べ利用人数	537	550	540	558	553	517	516	522	557	538	480	546	6,414			
	平均利用人数/1日	17.90	17.74	18.00	18.00	17.84	17.23	16.65	17.40	17.97	17.35	17.14	17.61	17.57			
	稼働率	99.4%	98.6%	100.0%	100.0%	99.1%	95.7%	92.5%	96.7%	99.8%	96.4%	95.2%	97.8%	97.6%			

介護付有料老人ホーム△		定員35名・30室（うち2人部屋5室）												
項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均
稼働日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	28	31	365	
総計	平均介護度	1.90	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80	1.70	1.70	1.80	2.00	1.90	1.80	1.82
	延べ利用人数	935	912	955	1026	1021	983	929	915	996	947	838	876	11,333
	平均利用人数/1日	31.17	29.42	31.83	33.10	32.94	32.77	29.97	30.50	32.13	30.55	29.93	28.26	31.05
	稼働率	89.0%	84.1%	91.0%	94.6%	94.1%	93.6%	85.6%	87.1%	91.8%	87.3%	85.5%	80.7%	88.7%

デイサービス			利用定員18名											
項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均
稼働日数		26	26	26	27	26	26	26	26	26	25	24	27	31
要介護	利用実人数	22	22	24	23	23	25	24	26	28	26	27	26	25
	利用延べ人数	180	212	208	223	212	225	234	235	259	231	239	262	2,720
	平均介護度	1.6	1.5	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	1.58
	平均利用人数/1日	6.92	8.15	8.00	8.26	8.15	8.65	9.00	9.04	9.96	9.24	9.96	9.70	8.75
要支援	利用実人数	18	16	18	18	17	20	20	21	19	20	21	20	19.0
	利用延べ人数	85	85	80	93	79	104	97	96	77	79	86	96	1057
	平均介護度	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
	平均利用人数/1日	3.27	3.27	3.08	3.44	3.04	4.00	3.73	3.69	2.96	3.16	3.58	3.56	3.40
総計	平均介護度	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.3	1.3	1.4	1.5	1.4	1.5	1.30
	利用延べ人数	265	297	288	316	291	329	331	331	336	310	325	358	3,777
	平均利用人数/1日	10.19	11.42	11.08	11.70	11.19	12.65	12.73	12.73	12.92	12.40	13.54	13.26	12.14
	稼働率	56.6%	63.5%	61.5%	65.0%	62.2%	70.3%	70.7%	70.7%	71.8%	68.9%	75.2%	73.7%	67.5%

[illegible]